

第5期スマートクルーズアカデミーレポート



平成26年9月20日～24日

<小樽⇒釜山(韓国) ⇒神戸4泊5日 at サン・プリンセス>

<参加者: 港灣関係者17名、学生34名、教員8名 = 33CABIN>

主催：大阪大学国際公共政策研究科赤井研究室

共同企画：全国クルーズ活性化会議（研修クルーズ）

協力：カーニバルジャパン株式会社

スマート・クルーズ・アカデミーの概要

第5期 スマート・クルーズ・アカデミー 2014年第2弾



<小樽⇒釜山＝神戸>

4泊5日「サン・プリンセス」

<クルーズ活性化会議ジョイント企画>

大阪大学(赤井研究室)主催のクルーズ体験企画(他大学学生も大歓迎)

シップデータ

サン・プリンセス

総トン数 77,000トン
乗客定員 2,022人
乗組員定員 900人
全長 261M
全幅 32M
巡航速度 24ノット
就航年 1995年



大阪発		スケジュール	入港	出港
1	9月20日(土)	小樽	乗船	17:00
2	9月21日(日)	クルージング	—	—
3	9月22日(月)	釜山	12:00	19:00
4	9月23日(火)	瀬戸内海クルージング	—	—
5	9月24日(水)	神戸	下船	

スマートクルーズアカデミーの趣旨

★学生の論理的思考向上の場

船上でしか味わえない、見渡す限り何も無く、それぞれが集中してやりたいことに打ち込める洋上の素晴らしい環境で、国際関係や地域発展についての社会課題について議論し、船内、寄港地にて国際感覚のより一段の向上を図る。

★クルーズ振興に向けた新たなマーケットニーズ構築の場

クルーズを体験し、若い世代からの視点で、将来のクルーズマーケットを熟成する。体験を踏まえて、日本の港湾戦略、寄港地の分析、日本の観光のあり方を議論し、自由に事業・政策提案する。

No.	Date	寄港地	Time	スケジュール	
0	9月19日 (金)	札幌	適宜 19:00	学生グループ各班打ち合わせ(札幌市内適宜。) 札幌市内(すすきの)で事前顔合わせ交流会	
	9月20日 (土)	小樽	14:00 14:30 14:40 15:30 16:00 17:00 19:45	★小樽クルーズターミナル集合 ★スマートクルーズアカデミー開催挨拶(小樽市産業港湾部長) ★乗船手続き開始 ★RESEPTION前に集合(船内見学ツアー) ★避難訓練(ボートドリル)あり ※救命胴衣必要 出港 ★夕食	
2	9月21日 (日)	クルージング	終日 8:00 8:30 10:00 12:00 適宜 15:00 18:30 19:30 19:30 19:30	クルージング ☆自由参加:朝のジョギング(プロムナードデッキ DECK7 中央エリア) 自由朝食(ホライゾンコート デッキ14 前方 または、レストラン) ★スマートクルーズアカデミー「 日本と世界の社会的課題を考える 」 (Dinning Room Deck 7) 終了 セミナー終了後各自自由昼食 自由行動(プール・ジャグジーなど) ★アフタヌーンティー体験(レストラン) ★賞切 Welcome Party (Wheelhouse Bar(Not Private) Promenade Deck 7) 「カーニバル・ジャパン様のご厚意により飲み物など無料！」 記念撮影(アトリウム前) ★夕食	
	9月22日 (月)	釜山	8:00 10:00 適宜 12:00 19:00 19:30	自由朝食(ホライゾンコート デッキ14 前方 または、レストラン) ☆スポーツ大会(スポーツコート DECK15 後方) ★学生グループワーク発表準備(パブリックスペースにて) 釜山観光 出港 ★夕食	
	9月23日 (火)	クルージング	終日 7:30 8:00 9:00 12:30 15:30 18:30 19:30 19:30	クルージング ☆自由参加:朝のジョギング(プロムナードデッキ DECK7 中央エリア) 自由朝食(ホライゾンコート デッキ14 前方 または、レストラン) ★スマートクルーズアカデミー「 港湾他インフラの機能強化と交流拡大による地域活性化 」 (WheelHouse Bar Deck 7) 終了 セミナー終了後各自昼食 13:30 「 日本の社会的課題を解決する方策とは? 」学生グループワーク発表 指導担当:橋本浩幸(兵庫県立大学准教授)・齊藤由里恵(徳山大学准教授) 終了 ★アフタヌーンティー体験(レストラン) ★賞切 クルーズ体験報告会 (Wheelhouse Bar(Not Private) Promenade Deck 7) 今回のクルーズで感じたことを簡潔に報告していただく予定です。 飲み物はありますが、有料となります。 ★夕食	
	5	9月24日 (水)	神戸	6:00	神戸入港 着岸後下船 解散



■ INDEX

乗船まで	1
申し込み時のイメージ	1
事前のクルーズ説明会他でクルーズの概要を知ったときの感想	5
乗船前にクルーズ客船が目の前に見えたとき、岸壁で眺めたときの率直な感想	9
乗船直後の感想	12
乗船下船時の対応	15
小樽港での乗船時対応の感想(with乗船前の記念撮影写真)	15
韓国釜山での下船・乗船時・シャトル対応についての感想	18
神戸での下船時の対応についての感想	21
スマートクルーズアカデミー	25
1日目「日本と世界の社会的課題を考える」	25
2日目「港湾他インフラの機能強化と交流拡大による地域活性化」	30
「交流スポーツアクティビティ」	35
「学生グループワークとプレゼンテーション」	38
船内サービス・施設の感想	44
食事・レストランサービス・café、バー、バーガー、ピザ	44
スポーツActivity・体験型イベント(ビンゴ、オークション、バルーンドロップ、ダンス)など	49
SHOW,エンターテイメント	53
キャビンサービス、その他船内各部門オペレーション(ホテルオペレーションなど)	56
ハード面(船内施設・施設のレイアウトなど)	59
編集後記 by スマートクルーズアカデミーコーディネイター	63

乗船まで

<申し込み時のイメージ>

- ・ 船内宿泊するようなクルーズは老後の贅沢・お金持ちの人が利用するもので、若者の場合は日帰り観光または観光地と観光地の橋渡し(交通手段)的なイメージ。
- ・ 娯楽、付属施設や一部食事は好きな時に好きなだけ利用できることを考えると、正規の値段でも見合う価値がある。
- ・ 学科の友人に誘われてクルーズのことを知りました。ちょうど学生生活最後の夏休みに友人と旅行したいと思っていたので申し込むことに決めました。クルーズについては豪華なイメージがあるだけ。のんびり船上を過ごすような楽しみ方もできそう。旅費に見合う旅行ができそう。
- ・ とにかく豪華なイメージで、自分には普段縁のない世界華やかな世界をイメージ。でも、「学生の私があんなに安い値段で乗せてもらえる船だから、もしかしたらあまり大きな船ではないのかも…」と考えたり。北海道旅行を含めても、4泊して韓国(外国!)にも行けて十分価値があるはず。
- ・ 申し込み時のクルーズに対するイメージは、ちゃんとした、格式高いイメージ。というのも、フォーマルナイトなどがあると聞いているので、いい大人が行くものだろう。
- ・ 2年前にロイヤルカリビアン参加した時と異なり、サン・プリンセスは格式が上というイメージがあって、アクティビティは少なめだと思う。加えて、寄港地も前のクルーズに比べて少なく、寄港地を楽しんでいくようなクルーズにはならない感じ。「船の中でそんなに楽しめるのかなあ?」と不安。いっぽうで、アフタヌーンティーがあったり、ご飯のクオリティが高かったりするんだろうな。
- ・ Facebookでクルーズアカデミーの宣伝をしていて、格安でクルーズと釜山旅行を楽しめる絶好の機会なので申し込んだ。クルーズでは忙しい日常生活から脱出して、ゆったりとした時の流れを感じよう。
- ・ クルーズがお得に楽しめること知り、またとない機会だ。クルーズ出港地が小樽ということも個人的にはプラス。初LCCを体験できること、札幌観光ができることなど、夢は膨らむ。
- ・ このクルーズを知り、応募したきっかけは主に二点。一つは、以前にクルーズに参加している友人らの写真を見て楽しそうだなと思っていたため。もう一つの理由は、コストパフォーマンスの高さ。思いつきクルーズ中は友人らと遊ぼう。サン・プリンセスやその中



でどんなアクティビティがあるのかなどは、全く知らない。今まで自分が体験してきた貧乏旅行とは違う、美味しい料理を食べたいな～。

- ・ 大きな期待。前回のボイジャー・オブ・ザ・シーズでのクルーズのときから参加してみたい気持ちはあったが、日程の関係から参加することが出来ず、参加された先輩方の報告を聞いてより一層クルーズへの興味がわいていた。クルーズへのイメージとしてはタイタニックなどの映画にあるような豪華客船での旅というイメージ。
- ・ クルーズの話聞いたときは、正直具体的なイメージが思い浮かばなかった。だから、船内で何をするかなどは想像もできていない。クルーズは裕福な人達が行くものと思っているので、自分がそれに参加するという実感が湧かない。大学生は人生の中でも最も時間にゆとりがあり、旅行に行く人も多いが、クルーズ旅行に行ける機会は滅多にないので、期待は大きい。
- ・ 最初は、正直参加するかどうか迷っていました。あまりクルーズ自体に興味がなかったから。しかし、せつかくの機会だし、いい経験になるのではないかと思い、参加を決意。クルーズに参加するために、パスポートや、フォーマルナイトに必要な服から鞆まで、私は1から揃えなければなりません。どれも今後に使えるものだから…とは思いましたが、やはり一人暮らしの私には、痛い出費だったので、クルーズってお金がかかるなあという気持ち。
- ・ 先輩方から前回のスマートクルーズアカデミーの報告を聞いてから、次があれば必ず参加しようと思っていた。クルーズ船には乗ったことがなかったし、とてもゴージャスな印象で、豪華客船にお得に乗れるのは滅多にないことだ！とすぐに参加を決めた。非日常的な船内での生活も楽しみだし、いい経験になるはず。特に他大学の学生の皆さんとのテイスカッションが楽しみで、違った考えを持ち、意識の高い学生がたくさんいる中で、自分の力を試してみたい。
- ・ 今年の5月のクルーズの際、大変興味を持っていが、日程的にどうしてもはずせない用事があったため、不参加という返答をしてしまったことに対してとても後悔していたので、今回クルーズのお話を聞いたとき、心の中で何が何でも参加しよう決めていました。最初はクルージングと聞き、自分にとってはとても敷居の高いものなのではと思っていたが、5月のクルージング後の先輩方のクルーズ報告会を聞き、そのような不安はどこかに飛んでいき、それ以上に自分の知らない世界に足を踏み入れてみたい思いが強まったので今回参加を決定。

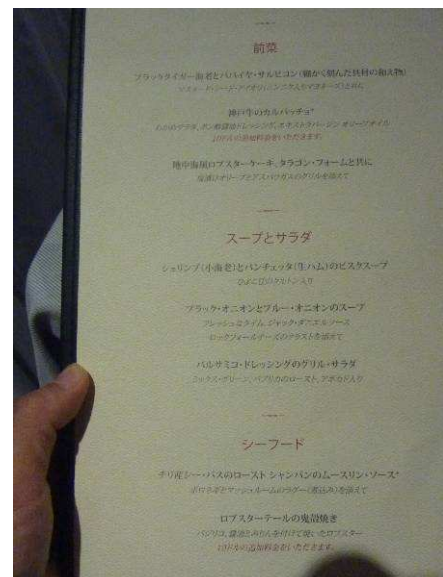




- ・ 前回クルーズのプレゼンを聞いていたので、もし行く機会があるのなら絶対に参加しようと考えていました。理由としては、普段体験できない貴重な体験が出来る点・他大学生との交流により自らの成長を促進できる点などが挙げられる。クルーズのイメージとしては、上流階級の人々のみが参加できるものだという考えがある。北海道小樽からの出発は前日に到着することで観光ができるという点で良いが、移動費用が掛かるのが残念。
- ・ 申し込み時は、やはりクルーズは格式が高く、お金もかかるだろうな。ただ、支払った対価以上の経験ができるだろう。クルーズに行ったらジムやジャグジーなどの船内施設を確実に利用しよう。

上の経験ができるだろう。クルーズに行ったらジムやジャグジーなどの船内施設を確実に利用しよう。

- ・ 今回のサン・プリンセスでのクルーズに対しては、前回のボイジャー・オブ・ザ・シーズよりも、アクティビティが出来る設備が少ないので、その点では退屈に感じることもあるのではないか。
- ・ 今回のクルーズでは、前回船を楽しもうとしすぎて体力が持たなかったのが、体力を温存しながら、アカデミーに力を入れて、他大学の人と今まで以上に関わってほしいな。前回よりもクルーズ自体の日数が少ないこともあるが、クルーズだけを見ると、かなりお得。ただ、小樽に行くための交通費や前日入りすることでかかる滞在費がそれに加算されると考えると、少し高くなるかな。
- ・ 今回のサン・プリンセスは、前回よりも食事がおいしいと聞いて期待して参加。また、2人部屋に2人で泊まるという事に期待。
- ・ 今回の船は、落ち着いた大人の船で料理がおいしいと聞いていたから、前回の船よりも服装の心配が大きいけど、反対に料理への期待は大きい。支払った金額については、前回はパスポートの取得やフォーマルの用意など事前の準備でかなり出費したが、前回でそれらが済んでいたため、純粋に船のお金と飛行機代だけしか私にとっての負担はなく、それが私の背中を押してくれて、2度目のクルーズ参加へ。
- ・ 前回はボイジャーでのクルーズに参加させていただいたので、クルーズに対してはカジュアルに楽しめるものであるというイメージを持って今回参加。クルーズアカデミーのお得な料金にさせていただいたことで出費が抑えられたので、今回とても参加しやすく感じる。乗船地が小樽だったので少し不便だが、前日入りして北海道の観光をすることができる！



- ・ 私はクルーズ経験がなく、クルーズは豪華で敷居が高く、なかなか体験できないものだ。
- ・ 初めてのクルーズ旅行ということで期待していた反面、他の大学生たちの足を引っ張らないかという不安もあり。しかしめったに無い機会でしたので、参加を決意。
- ・ 申し込んだ当初のイメージはクルーズは大金持ちの優雅な乗り物、お年寄りや外国人が多い、といったイメージ。そんな中、今回のクルーズの案内が来て、とてもわくわく。クルーズでの目的は他大学と共同で発表することだったので交流を図れたらうれしい。
- ・ 一生に何度も行ける訳ではないので、学校のメンバーで思い出作りをしようと思い申し込み。勉強をしに行くと思っていたのでびっしりと勉強ならしんどいな。料金も現地に行くまでのトータルを合わせると近くから同じようなクルーズがあればいいなと。
- ・ 世界旅行などで耳にする機会が多い為、時間を有効活用できる富裕層の乗る印象というものが強い。また、設備や建設等に関して整っている、所謂そこで生活が成り立つというイメージ。
- ・ 神戸港の見学会に参加した時に船を見て、あんな大きな船に乗るのかと期待に胸を膨らませている。
- ・ サン・プリンセスのような船に乗ったことがなかったので、どんなのか想像もできない。正直日付が近づくたびに不安がいっぱい。部屋の値段を聞きながら、海側とか内側とか、外に出れるところにするとかを決めたときは、わくわく。小樽までの旅費とクルーズ代などを合わせると、クルーズは安くいけると思ったけれど、まず、北海道に行くのにお金が掛かると思いました。
- ・ あまり乗れないような船にお得に乗れておいしいものが食べれると聞いていたので期待は大きい。支払った金額に見合う価値は十分あるはず。
- ・ クルーズのイメージはお金持ちしか行けなく私とは無縁な世界。しかしクルーズに参加することにより何か新しい世界、視野が広がると思い参加を決意。そして、私たちの大学はなかなか他の大学の方々と話をしたりする機会があまりなく今回参加し他の大学の方々と出会い勉強することにより自分自身が成長できればと思い参加。
- ・ タイタニックみたいに客船は大きくて綺麗なイメージがある。映画のように事故が起きたら助からなさそう。洗濯機など日常生活に困らないものはそろっていそうな感じがする。値段が高くて富裕層でないと乗れないものだ。
- ・ 他大学に比べて自分の大学の人数が少ないのは少し不安。クルーズのイメージとして時間とお金に余裕のある人たち(セレブや年配の方々)ができる旅行の方法であり、非日常的なことが体験できるもの。また、時間に追われずのんびりと過ごすことができる点も特徴。船内では、



プレゼンをしっかり行い、おいしいものを食べてお酒をのむなど優雅な時間を送るつもり。お得価格で参加できることもあって交通費を含めてもそれ以上の価値があるはず。

- ・ とても高く、豪華なイメージ。また、日程も長いので、長期の休暇を利用しないと行けないので、クルーズとは縁がないだろうな。今回9月20日～24日、サン・プリンセスクルーズに参加ができることになり、夢のような気持ち。クルーズでは、ゆったり、のんびり羽を伸ばして優雅に船内ですごしたい。また、参加費用も費用に見合ったプランで満足である。客室にバルコニーがついているので楽しみ。

<事前のクルーズ説明会他でクルーズの概要を知ったときの感想>

- ・ アカデミーの感じが強くて、先生たちのプレゼンで知識を学び、自治体の方々の熱情を感じたい。
- ・ 前回、前々回とボイジャーだったので、久しぶりのサン・プリンセスの映像を説明会で見て、ああこんな感じやったな、とぼんやりと思い出した。そういえば、前のサン・プリンセスに乗ったときはハンバーガーを食べられなかったのが、今度は逃さず食べたい。あとアフタヌーンティーだ！！
- ・ 娯楽施設が想像以上に多くあることに驚き。ただアメリカの船であるせいか、パソコンのインターネット及びWi-Fiの値段が高いという印象を持った。
- ・ 説明会でムービーを見て、まず想像以上の船の大きさに驚き。内側にはプールやカジノ、レストラン、カフェなどが揃っており、まるで遊園地のような雰囲気を感じて、乗船するのが待ち遠しい。またこのとき他の乗船メンバーと友だちになることができた。班のメンバーとも顔合わせができて、政策提言の話し合いを進めやすくなった。
- ・ 説明会には行けていないのでパンフレットを読んだ感想です。
 - ◇ 「ドレスコードとか初めて、すご～い」
 - ◇ 「バーとかもあるんや、やっぱりでっかい船なんやな」
 - ◇ と、やっぱりすごい船に乗せてもらうんだなと、気分が高まっている
- ・ 船上で数日間過ごすパンフレットに書かれていて、船でそんなに数日も過ごせるものか、飽きてしまわないか、正直心配。その一方で、ショー、プール、ジムなどのアクティビティ・施設があることを知り、クルーズに対する期待感も大。
- ・ 2年前に乗船したときと比べて、クルーズ市場が大きくなっているんだという印象。テレビ番組のVTRなどをみて、サン・プリンセスの船内のことを知ることができたので、とても楽しみ。グループワークの準備もあったので大変だけど、サン・プリンセスの中でいっ



ばい遊んで、楽しもう。

- ・ 9月2日の説明会に参加する前は「なんで高級ホテルのような部屋や食事を格安で楽しめるのか」が非常に疑問でした。しかし、格安でクルーズ旅行を楽しめるちゃんとした理由を赤井先生から説明を聞いて納得。(まさに経済学)また、船内のほとんどの食事や娯楽施設が無料で楽しめると初めて知って、クルーズは費用対効果が大きい旅行だと納得。

- ・ 説明会には参加できなかったので冊子等で概要を掴むこととなったが、設備の豪華さに驚き、様々なルールに困惑した。設備の紹介を読めば読むほどこんなものもあるのか、そんなものもあるのかとスケールの大きさに驚き。ただドレスコードやチップ、オプションの説明を読むうちに経験のなさから不安を感じることも。



- ・ サン・プリンセス号についてのイメージが一気に掴めた事と、今までメールやLINEだけでやり取りをしていたグループのメンバーと顔を合わせる事が出来た為、一気にイメージを掴むことが出来ました。この時にグループリーダーとしての責任を感じたと同時に、スポーツ大会やアフタヌーンティーなどのイベントには全て参加し楽しみ尽くしたい。これは行くまでの準備も、そして行ってからのアクティビティや勉強も大変な旅になりそうだな。
- ・ クルーズの説明会については、私は都合が合わなかったため参加できていなかったのですが、参加した同期の子に話を聞きました。正直イメージはあまり変わりませんでした。説明を聞いて、クルーズへのイメージに具体性がつきましたが、最初に考えていたことの想定内だったためだと思います。あえて言うならクルーズの日程が近づき、より期待が高まっている。
- ・ 今までクルーズとビジネスを結びつけて考えたことがなかったのだが、若い世代を含め、世界でクルーズ人口が増えてきていることを考えると、そこに目をつけないはずがないということも納得。クルーズの魅力として、様々な寄港地の観光を楽しめることや、移動時も船内アクティビティーを楽しむことができることが挙げられるが、それらのことを考えると値段も手頃である、ということを知り、クルーズがより魅力的に感じられた。実際に乗船するサン・プリンセスについてのビデオを見て、期待感が高まっている。
- ・ 最近、テレビ番組でクルーズを特集しているのをよく見かけていて、クルーズってすごくタイムリーなものなのかと思い、もうすぐ自分もクルーズに行くのかと考えると、楽しみ。紹介されていたのは、ダイヤモンド・プリンセスをはじめとする、豪華な客船ばかりで、船というより、高級ホテルや商業施設のようなイメージ。
- ・ クルーズはお金持ちがする遊びだと思っていたけど、その考えは説明会の説明で払拭

された。驚いたのが、18歳以下の子供はお金がかからないクルーズもあるということ！
もっと早くにこのことを知っていれば…。さらに、経済学という規模の経済の仕組みが
働いて、乗客の乗船料が安くなっているというのを知れて、なるほどな。ただ、服装に関
してはプレッシャーで、どの程度のカジュアルまで許されるのかが想像できなかったため、
少しドキドキ。

- ・ まず家に分厚い封筒が届いたときから、本当に自分は豪華客船に乗ることができるのだ
と大変興奮。パンフレットの中身を見てまず、時間帯によって服装を変えなければならな
いことに一番驚き。そして、クルーズ説明会の際に初めて他大学の人たちと話し合い緊
張しながらも、同じ想いを持つ人たちと出会いかなりの刺激を受けました。
- ・ クルーズは上流階級の人々の嗜みと
いうイメージが強かったのですが、実
は年々クルーズ人口が増加傾向にあ
りなおかつ、旅行会社も力を入れ始め
ていると分かり驚き。
- ・ 説明会で船の大きさや概要を聞いた
ときは正直驚き。また、今回乗ったサ
ン・プリンセスよりもはるかに大きい船
があるということにも驚き。映像や写
真で船内を見ることができたので、そこにいる自分を想像して期待感が高まっている。
- ・ 説明会でサン・プリンセスの映像を見たとき、思っていたよりも大きいかもしれないと思
いました。サン・プリンセスよりも小さいと聞いていたので、私の中でサン・プリンセスのイ
メージはもう少し小さい船だったのです。
- ・ ピザやハンバーガーなど色々無料で食べられるところがあると知り、全部食べつくした
いし、アフタヌーンティでは優雅なひと時をすごしたい。船が前回ボイジャーより小さ目
だから、部屋も少し小さ目かなと少し不安を感じたり、その分豪華にはなるのかなと期待
してみたり。
- ・ サン・プリンセスは前回のボイジャーとは少し違って落ち着いた船であると聞いていたの
で、ゆったりと過ごすことができる時間もあると期待。特にアフタヌーンティーは楽し
み。
- ・ 船の中でのイベントや施設、食事やアフタヌーンティーの充実を知り、船内で遊びと勉
強の両立をするというビジョンが浮かび、楽しみ。食べることが好きなので、食事の充実
という情報で期待が高まっている。
- ・ 外国船というのを聞いて、フォーマルティや船内パーティーなどさらに期待が高まってい
る。動画などを拝見させていただき、自分には豪華すぎるのではないか。と思うほど。米
ドルの両替などがややこしそう。
- ・ 奈良県出身なので、海へのあこがれが強くてクルーズの概要を知ったとき、絶対行こう
と思いました。クルーズではほとんどの時間をパワーポイントづくりに終わってしまうの
では。。アフタヌーンティーやダンスパーティーなど楽しいイベントにも参加するぞ。
- ・ 事前のクルーズ説明会には都合上の理由により参加できていませんが、説明会に参加



し、クルーズの目的がつかめ楽しみになり、楽しく過ごせるようにグループのメンバーに迷惑をかけないようにがんばろう！

- ・クルーズの経済効果については漠然と大きいと考えていましたが、想像していた金額とはかけ離れていて、巨額マネーであることを改めて感じました。頭の中で思い描いていたよりも規模が大きく、説明会を聞く以前よりも更なる期待が高まりました。
- ・赤井先生が用意してくださったビデオを見て、大きな客船のイメージが付きました。このビデオを見て大体が分かったので、少し不安はなくなりました。ビデオを見たときに思っていたイメージと違いました。予想以上の大きさでびっくりしました。
- ・フォーマルな服を着る日があったりイベントがあるなど、イメージがかなり変わりとても楽しみ。
- ・クルーズの説明会は、都合がつかず行くことができなかったのですが、赤井先生が送ってくださった資料や、動画を見てとても楽しそうで早く行きたいと思いました。また寺地先生がどうしても都合がつかない生徒のために大学内で説明会を開いてくださり、いろいろ丁寧に説明して下さって説明を聞く前に色々疑問に思っていたことがなくなりました。
- ・ほとんどの料金は宿泊代で、船内でのアクティビティ(例外があるが)や食事がすべて無料ということに驚きました。また、船内に免税店など買い物ができるところがあるのも初めて知りました。食事は本格的だとおもったので楽しみ。
- ・事前説明会で18歳未満は無料などといったサービスがあることを知り、家族旅行として参加してもとてもいい内容の旅行だと思う。船内では様々な催しものが行われており、退屈な時間がないように感じる。今回乗船するサン・プリンセスは少し小さいことを知り、他のクルーズ船はどのようになっているのか興味があり、乗船してみたいと感じる。
- ・事前説明会に参加して、自分が思っていた以上にクルーズはスケールが大きく、船内の設備も充実している。これまでの自分のイメージは、船に乗って、色々な所を回って旅をし、海を見て、旅行を楽しむのがクルーズだと思っていた。しかし、今はそれだけがクルーズではないと感じている。船内でのサービスを満足のいくぶん利用して、クルージングを楽しみたいと考えている。



<乗船前にクルーズ客船が目の前に見えたとき、岸壁で眺めたときの率直な感想>

- ・ 想像とおり、遠く見ると「水上の島」のような感じであるが、近く見ると高級ホテルの感じ。これで、サン・プリンセスの言葉「escape completly」を自然に思い出し、この景色と一番相応しいと実感。
- ・ あれ？こんなに大きかったっけ？ボイジャーよりちょっと小さいのは分かるけど...こんなに高さあったっけ？意外と大きかったんだ...迷わないかが心配...(迷いました。)
- ・ 壮大という第一印象、外から見たときの客室の多さに驚愕。宿泊型の船に乗ったことが今までないため、数値で船の概略を見てもいまいちピンと来ていなかったが、予想以上に大きい。
- ・ 港までは徒歩で行った。クルーズ船が大きいので港が近いように錯覚。しかし実際は離れていてなかなか到着しない。港に到着して真下から船を見た時は、ムービーで見たときよりもさらに迫力を実感。船というより巨大な建築物という印象。船上のホテル、ビルという感じ。
- ・ 外からの見た目は意外と普通。(シンプルな白い壁で、あまり装飾などは見当たらないという意味)でかいなあ。
- ・ 小樽の港に泊まっている船を見たとき、クルーズ客船というのを初めてみたので、大きいなあというのが率直な感想。
- ・ 以前にも乗船経験があったのでサイズは想像できていたが、それにつけても遠くの電車から見えるほど大きかった。小樽はほかの寄港地と違い、シャトルバスがなく、公共交通機関も遠かったのが大変だったが、船を見ると元気になって歩けた。
- ・ 電車で小樽築港駅に向かっていて、隣の駅を通過した時点からサン・プリンセスをはっきりと見ることができました。9月2日の説明会で赤井先生がおっしゃった通り、クルーズ船は本当に巨大だと実感。小樽築港駅から小樽港までの道のりはよく分かりませんでした。サン・プリンセスを目印にして行くことができました。
- ・ 横から見たときはビルがそびえ立っているかのよう。テツキを歩いている人の大きさからまた改めて船の大きさを実感。正面から船を見たときはその雄大さに圧倒され、純粹にかっこいいと見とれた。
- ・ 遠くから一目みて「でかい！」。間近で見た際には、白く美しい船体が印象的。この船内でどんなクルーズになるのか、早く中が見てみたいと想像が掻き立てられている。



- ・ 実際にサン・プリンセスが見えたのは電車の中からで、電車のなかからあれだけ見えるというのはとても大きいのだな。歩いて近づいて、客船を目の前にしたときはあまりの巨大さに思わず「でかつ」と声が出る。これまで船といえば旅行でのつたこフェリーや、サンフラワーなどの大きさのものしか見たことがなかったので、サン・プリンセスの大きさには驚き。
- ・ 新千歳空港から小樽へ向かう電車の中から、サン・プリンセスが見えたときは、こんなにも遠くから見えるのか、という感想。小樽駅周辺を少し観光してから小樽港へ向かったのだが、サン・プリンセスは見えているのに港へはなかかたどり着かなかったので、改めてすごい船にこれから乗るのだなと、気分が高まった。
- ・ 最初に客船を見たときは、「テカッ！！」という感想。
- ・ 神戸にメリケンパークホテルかと思ったくらいに大きいと実感。立派な佇まいで、かつみさゆりのさゆりが「全然揺れないです！」とっていたのも説得力がある。わくわくしてたまらない。
- ・ 新千歳空港から南小樽まで電車に乗ったが、電車が南小樽駅周辺に近づいたとき、なんとなく窓の外を眺めていると海に堂々と浮かぶサン・プリンセス号がいきなり視界にあらわれたので、寝ている同期達を起こしみんなに知らせたら、想像以上の船の大きさに目を丸くしていました。地元が神戸なのでよく港に豪華客船がとまっていることがあるが、自分が乗る乗らないによって感動は違うのだと実感。
- ・ 率直な感想としては「でかつ!!」。これまでの人生においてあれほど大きい船を見たことがないので感動していると同時に、これに乗船するのかなと思うと胸が高鳴っている。荷物の受け渡しや誘導など現地スタッフも非常に親切だ。大きさに驚き、子供の様にはしゃいでいるところです。カメラで撮った写真を、今、SNSにアップして友達に自慢したところ。船の規模については、僕の想像を超えた大きさ。
- ・ 自分自身が想像していたより、サン・プリンセスよりは大きいな。しかしその一方で、ボイジャー・オブ・ザ・シーズよりも小さいので、大きなクルーズ船を目の前にしたという感動は薄い。船に乗る前に、小樽観光など満喫してしまったので、ちょっとしたゼミ旅行を終えた気がしていて、これからクルージングをするには疲れているなど感じているが、いざサン・プリンセスを前にすると、これから5日間過ごす船だという事で、気持ちは高まりつつある。
- ・ 前回乗船したボイジャー・オブ・ザ・シーズより短く見えるが、それでもスマホの画面に入りきらない、大きな船だ。前回の神戸港の岸壁では船の先頭から船尾まで歩いてかなり遠かった印象がある。今回、歩き比べてみたいと思ったが、今回は場所的にできず残念。



- ・ ボイジャーよりも小さいということを知っていたこともあり、前回のように「とてつもなく巨大である」という印象はない。ただ、港に停まっているサン・プリンセスを見て前回同様、船というよりも建造物のようであると感じている。
- ・ あまりにも大きく、迫力と存在感があり、カッコいい。
- ・ ここまで大きい豪華客船は実物でははじめて、早く乗りたい！
- ・ 船内がとても気になる。どんな感じだろう！
- ・ 大きさに驚いている。船に近づくとつれ改めて大きさに圧巻され、違う舟かなと疑うほど。これほど大きな船だとは思っていなかったので期待と好奇心が最大。
- ・ クルーズは初めて。とても大きい！
- ・ インターネットで調べていたが、実際目にするると迫力がありこれからのクルーズの旅に対し期待がさらに膨らむ。そして巨大な船の作り方、順序が気になり造船する人たちや設計者がすごいなと思いきを隠せない。
- ・ 説明会の時のビデオで見たスケールよりも大きくて、思わず声が出る。写真に収めるにも道路の端まで走らないと収まらない。視覚だけではなく、感覚としてもその大きさを実感している。乗組員さんが手の形をしたものを振ってくれている。気分が高まる。
- ・ 小樽に向かっているときに電車の中から少し見えたが、距離があったのでまだ、“大きい”ということしかわかりませんでした。乗船前に小樽港に到着してみて、今まで乗った船と比べ物にならないくらい大きくてびっくり。
- ・ クルーズ客船は写真では見ていましたが、目の前に見えた今、とても大きくて驚き。こんな大きな船に今から乗るのかと思うとわくわく。
- ・ 乗船前にクルーズ客船を見た今、あまりの豪華さ立派さに驚き。ホームページなどでクルーズ客船の写真を見てから行ったはずなのに、写真ではあらかずことのできないようなとても立派な船で大学の友人たちとまだ乗ってないのに写真をたくさん撮ってしまっている・・・。
- ・ 電車の中からたまたま見えたときの客船の迫力もすごかったが、港に着いてまじかに見て、率直にすごいなと実感。
- ・ 今からこれに乗るといふ実感がまったく湧かない。これが動くのか！
- ・ 今までクルーズ船を生で見たことがなく、目の前にして、とにかく大きいと驚き。船内がどのようなになっているのか早く見たい！
- ・ クルーズ船に乗って映画『タイタニック』の有名なシーンをやってみたい！クルーズ船ではどのような時間を送ることができるのか！期待が膨らむ。
- ・ クルーズ船を目の前に見て、「この船に、乗れるんだ！！！」という感動を覚え、身が震えている。これまで、新幹線、飛行機と、乗ってきたが、クルーズ船に乗船するのが初め



ての経験のため、何もかもが新鮮で、期待は膨らむ。船首、船尾からの眺めも最高だろう。

- ・ 想像していた以上に船は長くて大きい。この船で、世界を回ってみたい！

<乗船直後の感想>

- ・ やつぱりボイジャーとは違う！サンプリンセスの映像を見たときは、ボイジャーと雰囲気はあまり変わらないと感じていたけれど、やつぱり違う！貴族感があふれてる！！シックで豪華な雰囲気&サイズ感。吹き抜けも思っていたより(前回の記憶より)も広く感じる。
- ・ 一つ一つのフロアの天井が低いイメージだったが、そんなことはない。特にロビー横が吹き抜けになっているのを見ると、船内にいることを感じない。
- ・ 手続きをして手荷物検査をしてから乗船。乗船口から入って通路を抜けると、エントランス。高級なホテルのようで、船の中とは思えない。吹き抜けの構造になっており、とても開けた空間。調度品や装飾がきらきらとしており、すごく豪華。
- ・ 完全にクルーズに魅了されてしまう。こんなに贅沢で素敵な経験をさせてもらえるなんて幸せ。クルーズの中の世界観・非日常感が本当によい。船内の設備も想像以上に豪華。
- ・ ロビーが吹き抜けになっていることで船の高さを実感。部屋までたどり着くまでの廊下の長さから船の広さを、身に持って実感。部屋は意外に狭い。ただ、バルコニー付きなので、外の景色が見え開放感があり、狭さは気にならない。
- ・ 乗船後、今、船内ツアーをしているところだが、船が巨大すぎてどこを案内されて、自分が今どこにいるのかが全然わからない。部屋は内側だったが意外と豪華で快適そう。船内の施設も思いのほかバリエーション豊富で予想していたのと違って、これなら楽しめそう。
- ・ 内装は高級ホテルと遜色ないうえに、エレベーターが10台近くもあって「本当にここは船の中なのか」と目を疑う。日本人の乗客が多いので、日本人のスタッフが多いと思いきや、ほとんどのスタッフが英語で話しかけてくる外国人で少し困惑。(=>外国の船ですから：赤井伸郎)
- ・ 内装はとても船とは思えない。陸のホテルを含めても、あれほど豪華絢爛な吹き抜けは記憶にない。船内見学として、わくわくしながら回っているところ。部屋の印象も悪くない。さすがに男3人では少し手狭、次回はカップルで！



- ・ きらびやかな装飾に、吹き抜けの構造、異国の船員など、一步入ればもう日本ではないと聞いていたが、そのとおり。実際に見たサンプリンセスは一段と美しい。
- ・ 乗船直後の感想は自分の抱いていたイメージからそれほどかけはなれていたわけではなかいが、船内の豪華さについては船の中ではないような、まるでホテルのような、そんな印象。
- ・ 乗船してすぐに、部屋の数が多いことと、廊下がやたら長いことなど、とにかくスケールが大きいことに驚愕。そして、部屋にたどり着くまでに出会った船内のスタッフは外国人ばかりで、そこでようやく外国の船に乗っているということを実感。
- ・ 乗船して部屋に向かったときは、廊下がとにかく長くて、ずっと先を見ると目が回りそうな感覚。それほど大きな客船だったのだと改めて実感。船内の豪華さは、イメージしていた通りの豪華さ。
- ・ 予想通りゴージャスで、動くホテルという印象。縦も横も広すぎて、一人だったら迷子になるだろう。実際に何度も同じところをぐるぐるしたりして。
- ・ 乗船して部屋に向かうまでに、たくさんの従業員とすれちがったが、すべての従業員がにこにこして私の緊張をといてくれたので、人に笑顔をむけるということはどうにも大切なことかと実感。当たり前のことながら従業員の殆どは日本語が伝わらないけど、ほとんど単語・単語でしか話せないような私の英語をやさしく聞きとってくれたのは嬉しい。
- ・ ロビーの豪華さや船内の広さは想像をはるかに超えるもの。またスタッフも気品にあふれ素晴らしい。客室はもっとせまいものだと考えていたが、快適に過ごせるスペースで驚き。バルコニーからの眺めは最高。
- ・ 船内の様子は、ある程度は把握していたつもりではいたが目の当たりにするとやはり圧倒される。豪華さもそうだが、ホールの大きさや、廊下の長さなどにも驚かされる。
- ・ 乗船してすぐの階が、前回よりも客室に近いと感じました。前回ボイジャーは、船から出るには一番下の階まで下りて乗組員の方たちが私服でいる姿を横目に、通っていたと記憶しているが、今回は乗船した場所がロビーで部屋までたどり着けた。
- ・ 大人で落ち着いた雰囲気船だと聞いていたから、年配の客が多いのかと思って乗ってみると、割と若い人も多く見受けらる。若い人の割合は前に乗ったボイジャーよりも多いと感じる。プロムナードは平面よりも縦に広く、リゾートというよりは、都市の高めなホテルみだ。部屋は少し狭いと感じるが、バルコニーがついている解放感がとてもうれしい。
- ・ 船内の様子はとても落ち着いていて高級感もあり、素敵だ。前回のボイジャークルーズ



で、最近カジュアルなクルーズもあるということが分かったが、今回のクルーズで多少贅沢感を味わえるものも素敵だと実感。また、家族でクルーズ旅行に行く・親にプレゼントするとすれば サンプリンセスが適しているかも。

- ・ これまでテレビなどで目にしたことはあるが、やはりゴージャスでラグジュアリーだ。
- ・ 海のうえに浮かんでいるとは思えない安定感と、海の上であることに対するワクワク感。
- ・ 客室は海側バルコニー付きのもので、一瞬狭い気もしたけど、バルコニーがあることによる奥行きが感じられ、ベッドも気持ちいい。
- ・ まず内装の豪華さが印象的。映画に出てくるようなきれいな設備に、しっかりとしたセキュリティ、本当にあのお値段でいけるのか心配になるほど。大学生にはもったいないくらい。
- ・ もっと船内は広いとっていて思っていた。よりこじんまりとしているといった印象。それでも中央の吹き抜けはとても広くて素晴らしい。食事も無料だったので安心してクルーズ旅行を過ごすことができるだろう。
- ・ 思った以上に中央がひらけていて高級ホテルみたい。レストランもすべて予想を覆す豪華さ。
- ・ 乗船しているという感覚が余りなく、まるで夢を見ているようだ。内装が豪華絢爛。また、乗組員さんが英語で話すので、異国にいるような感覚。自分のイメージしていた船は全く違うもの。乗船して、まず目についたのは、目の前にあったエレベーター。金色エレベーター？でも、今思えば、クルーズは”動くホテル”なんだ。そして、乗船直後の船内探検では、驚くものばかり。14階までであること、店(ブランド品など)があること、レストランがいくつかあること、スパやジム、バスケットコート、卓球台、プールがあることなどに驚き。
- ・ 船は14階まであり、プールやスクリーン、吹き抜けのロビーなどがあってとても驚き。迷ってしまうほど大きな船で、ショップやレストランやバーなど、船の中にいるとは思えないような感じで、想像していた船内よりもとても豪華。
- ・ 船内はホテルのようで螺旋階段があり、音楽を演奏している人がいて本当に船に乗っているというよりは、夢のような世界に来ているような感じ。自分のイメージをはるかに上回る豪華さ。今から4泊このような素晴らしい場所で泊まれるかと思うと胸が高鳴る。
- ・ まず船内の高級感・綺麗さに驚き。船内の構造も最初はよくわからず、迷子になりそうだな。船内で表記している言語は英語で話す言葉も英語なので留学に来ている気分。
- ・ 船内は自分がイメージしていたような内容。とても広く、豪華な船内。しかし、豪華と言ってもただ単に派手というわけではなく品があり、落ち着いた空間。テッキからみる海は地上からみる海とは違って最高の眺め。ただ、係の方が英語を話しているので、自分の言



いたいことがしっかり伝えられるか少し不安。これも良い勉強。

- ・ 乗船後、目の前に広がっていた光景を見て、驚きをかかせないでいる。まるで高級ホテルにきたような雰囲気を味わえ、船の中ではまるで、貴族のような気分。自分がイメージしていた船内よりも、遥かに豪華でこれからのクルーズ船での旅に、より一層の期待がもてる。

乗船下船時の対応

<小樽港での乗船時対応の感想(with乗船前の記念撮影写真)>



- ・ 効率性とプロセス性を感じた。
- ・ 前回ボイジャーの際より、乗船手続きと乗船時間を大分短縮した。(前は90分待ちでした。)
- ・ ターミナルの手続きはとてもスムーズで、何のミスもなくすんなりと乗船出来た。クルーズ会社に関わらず、乗船時はなんだかんだでトラブルがあるイメージだったので、とても感動した。
- ・ 係員の方が積極的に荷物受取などをしてくれてたり、乗船手続きやセキュリティチェックの時も親切だと感じた。
- ・ 直前に下船時に関するアンケートを書かなければいけなかったせいで入口が混雑してしまったので、事前もしくは乗船後でもいいのではないかと思った。下船方法のアンケート

であったが、事後的でも可能なものであり、あまり意味が無かった気がする。

- ・ クルーズ乗船は初めてでしたが、スタッフの方が丁寧に案内して下さったのでスムーズな乗船ができました。
- ・ 荷物もすぐにヤマトの人が持って行ってくれたし、とつてもスムーズで楽々だった。気持ちよかったです。パスポートを預けてしまうのは、大丈夫だとわかっていたけれど少し不安な気分になった。
- ・ 乗船時、どこに荷物を預ければいいのかなど全然わからなくて、案内の人が、私たちがあたふたしているところに気づいてかけつけてくれて、助かりました。また、お見送りの太鼓のパフォーマンスは船の上からでも迫力を感じました。
- ・ 入場ゲートが小樽築港駅側に設けられていたので、反対側から入るとなるとかなり遠回りで煩雑に感じた。埠頭までのシャトルバスなどがあればよいのではないかとも思った。スタッフの方はどの人も丁寧でよかった。
- ・ 良くない印象としては周りに何も無いなと思ったことと、乗船場所が遠いこと、標識など道案内が少ないなと思ったことなどが記憶に残っている。良い面としては対応が親切だったこと、広がったこと、待ちあいスペースの椅子が十分あったことなどがある。
- ・ 小樽港の乗船時には、大きなテントや待機する為の椅子なども置かれていて快適に待つことが出来たと思います。また、使用はしていませんが、コーヒーサーバーなども置かれていたため、早く到着した場合でも快適だろうなと思いました。
- ・ 乗船時の対応はなんというか普通でした。作業として淡々と行われており、特別気持ちのいい対応だったとか悪い対応だったなどということはありませんでした。ただ、荷物検査のときの外国人クルーの言葉がよくわからず、もたもたしていると、早くしろよ、といった反応をされたことには少しむっときました。
- ・ タイムテーブルにはかなり余裕のあるスケジュールが組まれていたので、乗船時は様々な手続きを踏むのだらうと思っていた。しかし、実際には荷物を預けたり、パスポート、クレジットカードの点検など、概ねスムーズでわかりやすかった。
- ・ 右も左もわからない状態で、流れに任せた感じで、乗船しました。荷物もスムーズに預かってもらったので良かったです。持ち物検査なども、案外スムーズに終わるんだなと思いました。パスポートを預けることによって、釜山への入国がスムーズにできたということは、すごく助かりました。
- ・ パスポートを返してもらったときに、下の名前で呼ばれたのが印象的だった。乗船までにもっと時間がかかるとかと思っていたけど、意外とすんなりと船に乗れた。
- ・ 小樽港にテントを張り、臨時会場ということでしたが、案内の人々のおかげでスムーズに乗船できました。



- ・ 丁寧に誘導してくださり、不安なく乗船できました。
- ・ 荷物の引き渡しや、各手続ともスムーズに行われていて、初めてでも何の不安もなくこなすことができたので、対応は良かったと思います。また、窓口もいくつもあり、特に待つこともなく手続できたことは気持ちがよかったです。
- ・ 乗船する前に手続を行う建物は、仮設のもので、神戸港のそれとはまったく違っていました。前回よりも待ち時間も少なく、乗客の数も少なく、スムーズに乗船できたように感じました。日本人の方が対応してくださったので日本語だけで手続できました。
- ・ 港に着くや否や荷物を取りにきてくれて驚いた。乗船手続もスムーズで、ほとんど待つことなく船に入れたのがよかった。ボイジャーと比べ、船の規模が小さ目で、人数も少ないからかなと思った。下船時間のアンケートは、もう少し重要性をアピールした説明なり書き方なりをしてほしかった。
- ・ 乗船前の手続について、今回は乗船するための手間が少なく感じました。前回ボイジャーの際は、乗船の前の待ち時間が非常に長かったので、今回は快適に感じました。乗船前の手続も今回ほどに簡便化されるとより多くの方が乗りやすくなるのではないかと思います。
- ・ 丁寧な対応でした。ますますスムーズに進めたと思います。
- ・ 用紙を書くことが何個もあり、面倒ではありましたが、まだ我慢できるレベルだと思いました。
- ・ 乗船前に何かトラブルがあったようなのですが、出航時間が遅れることもなく、迅速な対応をしていただきました。ルームキーもちゃんと届き、安心しました。対応が日本人の方だったので、スムーズな手続でした。
- ・ もっと厳重な警備なのかなと思っていましたがそんなこともなく、スムーズに進むことができました。荷物も乗船の時にはすでに部屋においてあって仕事の速さにおどろきました。
- ・ 乗船時は係の人が沢山いたのでスムーズにいけたのではないかと思います。ただ僕の部屋のキーが用意されていなかったの少し残念でした。
- ・ 受付場所がテントという光景に当初は驚きはしましたが、スムーズに乗船できるようにテッキ毎に時間配分もされていて、良いと思いました。乗船前に写真を撮ってくれて、本当にクルーズに行くのだなと感じました。
- ・ 乗船手続をした後、乗船前に記念写真を撮ってくれたのは嬉しかったです。船が出港するときは、陸で地域の方々が太鼓を叩いてくれるなどのパレードがあったのはすごかったです。
- ・ 小樽港に着いた時にすぐスーツケースを預かってくれ、とてもよかったです。乗船する前には、一緒の部屋の人と写真を撮ってくれたので、そんなサービスもあるのかと驚きました。出航の際には小樽の人達が太鼓を叩いてくれ、そんなことをしてくれるとは思っていなかったのですごくいいなと思いました。



- ・ スムーズに乗船できるように対応してくださっていたと思います。また乗船前に書く紙があったのですが書き方がわからない時などは丁寧に教えてくださっていました。荷物もスムーズに運んでくれていて、とても対応がよかったです。
- ・ 乗船を待つところに椅子があつて疲れなかつたし、その係の人も誘導するのが上手くてスムーズに乗れたと思います。
- ・ 小樽クルーズターミナルに着いた時に係の人が声をかけてくださった上に、荷物を運んでくださりありがたかつた。乗船手続きをする際も係の人が誘導して下さりスムーズに手続きを終えることができた。
- ・ 大きなキャリーケースを抱えていたため、小樽港での対応してくださったスタッフが先に荷物を船内に運んでくれたのでとても助かつた。非常によい対応だったと感じた。誘導も丁寧に、安全な方法でお客様を案内するようにしていて、万全な対応だった。

<韓国釜山での下船・乗船時・シャトル対応についての感想>

- ・ 飛行機より、外国への入国手続きが少ない。
- ・ 移動式の両替所があることに感動した。日本の寄港地では両替所がきちんと設置されていない印象だったので、外国人の乗客は困るだろうな、と感じた。ターミナルから街までのアクセスはあまり良くなかつた。シャトルバスは10分おきくらいにターミナルに着いていたが、並んでいる列の横から他の乗客が入り込んできたり、無秩序な状態になっていたのが残念だった。日本語や英語を話せるガイドがバス停に立っていたため、安心出来た。釜山の街はあまりきれいではなかつたが、観光地としては規模も大きく、悪くないと感じた。街で買いそびれたお土産をターミナルの売り場で買えるのも良いと感じた。
- ・ 釜山で地図をくれたのは良かつたが、見てもどのようにその場所に行けばいいのかがいまいち分らなかつたため、あらかじめ交通手段については調べてから行くべきだったなと感じた。
- ・ クルーズのカードがあれば、パスポートを持って降りなくてもいいことに驚きました。パスポートを持ち歩いていたらなくしてしまうかもしれないので、船で管理してもらの方が安心出来ました。小樽での乗船以上に短時間で乗り降りできました。
- ・ 入国手続きがとても簡単でびっくり。シャトルも質・発車頻度にも満足でした。
- ・ 韓国釜山にガイドブックを持って行ってなかつたので、シャトルで市街地まで行けることは有難かつたです。それに、下船時、サンプリンセスからシャトルバスまでの道案内の紙を持っている人が何人かいて、何の不安もなくシャトルバスの停留所まで行けました。



- ・ パスポートや出入国審査なしでスムーズに乗下船できて快適だった。お土産品を買い忘れても船の横で買えたので快適だった。シャトルバスも快適だった。
- ・ クルーズカードがパスポートの代わりに携帯すれば、韓国に入国できたのは本当にありがたかったです。韓国政府がクルーズ誘致へ力を入れていると思いました。
- ・ スムーズすぎて入国した感じがしなかった。それも船内で基本的な手続きは全て済ませることができるシステムのおかげだったのだとあとから聞いて納得した。

- ・ 下船時には、韓国に来たとわかるような土産屋や写真撮影台などが準備されており雰囲気が良かったと思います。また、プサン中心部までのシャトルバスが出ているのは大変便利でした。さらに簡単な観光地図がバス内に置かれていれば、より良かったかもしれません。



- ・ 釜山下船時は、レストランのときに写真を撮っていたクルーが着ぐるみを被って出迎えてくれました。笑顔でむかえてくれたので気持ちよく下船できました。シャトルバスでは韓国人のお兄さんが出迎えてくれたのですが、列を追い越す外国人観光客についてなにも注意してくれなかった点についてはなんとかしてほしいと思いました。
- ・ 入港してから下船するまでの間の時間が長かったので、そこがスムーズにいけば、もっと釜山管区を楽しめたのと思う。下船、検疫はスムーズに進んだ。パスポートを見せることもなかったので、海外に来たという実感があまりわかかなかった。シャトルバスは本数も割と多くて便利だと思った。並んでいるところに普通に割り込まれた時はここが海外であることを実感した。

- ・ シャトルバス乗り場に行ったのですが、あまり列や順番への対応がなされておらず、ぼーっとしていると、どんどん順番を抜かされてしまう状況だったのが、少し残念なところでした。順番を守るという文化がない人もいるから、仕方ないことかもしれないなあとも思いました。韓国人の案内係の方たちも、あたふたしていて、大変なんだろうなあとも思いました。

- ・ 釜山の中心に向かうシャトルバスに乗る際には、並んでいたのに後から来た人にどんどんぬかされて、「どうなってんねん！」と思ったけど、そもそもきちんと並んで順番を守るのは日本人の特徴なんだろうなと思った。それに



- ・ 釜山港をでてシャトルバスを待っている際、様々な国の人々がいたのですがきちんと列

を守ろうとする人が少なく、おかげで私達の番がなかなかこなかったのに不満を抱きました。もう少し係の人は周りを見ていてほしかったです。

- ・ シャトルバスの管理体制は最悪でした。順番を抜かす人々が多数いましたし、それを管理しようともしていませんでした。事前にパスポート等の手続きをして頂いたのでスムーズに入国できた点は良かったです。
- ・ 釜山での下船時、歓迎ムードがあまりないことが気になりました。また、シャトルバスの列を、関係者が整理できていなかったため、順番を抜かされたりしました。この2つの点からあまりいい気はしませんでした。日本との文化の違いを感じることができ、良かったです。
- ・ 下船はある程度、他の乗客の方たちが下船した後にしたので、並ぶ必要もあまりなく、スムーズに下船することが出来ました。乗船する時も長時間並ぶことなく、スムーズに乗船できました。シャトルバスに乗る際は列を作ってバスを待っていても順番を抜かされることが多かったです。順番関係なくシャトルバスに向かう人たちがいても、シャトルバスに人を誘導しているスタッフの方たちもそれに気付かず、もっと並んだ人から順に乗れるように整備してもらえたらなとは思いました。
- ・ 下船、乗船手続は滞りなく進んでよかったなという感じだった。港から市街地に向かうシャトルに乗る際、先にあった列を無視して列を作る人たちがいて、しかもそれがおそらく船のクルーたちで、場が騒然となった。しっかりと列を作れるような場所でもなかったため仕方ないといえば仕方ないかなと。バスの数は多く、15分おきにも出ていたので用意はよかったと思う。仕方が悪かっただけで。
- ・ 港については問題に感じることはありませんでした。ただ、前回経験した日本の港のような歓迎のムードがあってもいいのではないかと少し思いました。小樽でも港に近いあらゆるお店でサンプリンセス歓迎の張り紙を見かけたのでさみしく感じました。また、港からのシャトルバスを待つところで韓国の案内の人にもっときちんと列を整備してほしいと思いました。
- ・ 釜山では下船時に非常に混雑しましたが、カフェでゆったりと時間をおいてから下船したのでそこまで嫌にはなりません。
- ・ シャトルはかなりスピードを出していて運転が荒く、心配になりましたが、無事でした。
- ・ 乗降場所が行き帰りともにわかりやすかったのがよかったです。
- ・ 港にも銀行やお土産屋さんもあり、両替もスムーズでした。バスもすぐに出発し、船に戻るときもスムーズなチェックで、基本待つことがなかった気がします。そのおかげで釜山の観光も十分に満喫できました。
- ・ 下船が一番遅かったせいかスムーズにできました。ウォンへの換金もスムーズにできストレスなくできました。シャトルバスは少し混雑していました。シ



ヤトルバスのスピードがかなり出ていて怖かったです。

- ・釜山に降りたときはバスの運転手やその他のドライバーの運転の荒さには正直驚きました。このままでは事故を起こすのではないかとドキドキでした。
- ・下船してティガーによく似た動物を目にした時、これは法律云々のに大丈夫なのだろうか、と思いました。そして、韓国語で書かれた建物を見て、降り立った地が海外なんだなということを実感することが出来ました。
- ・シャトルバスが無料で送り迎えをしてくれたので良かったと思いました。私は、外国に行くのが初めてだったので、怖かったのもありましたが、怖がることはなにもなかったので良かったです。
- ・釜山でも小樽港と同じように下船の際に写真を撮ってくれ、釜山の港から釜山の街までは何で行くのだろうと不安に思っていたのですが、シャトルバスが用意されており驚きました。釜山のことはあまり調べていなかったもので、地図などももらえて助かりました。港に帰ってきた時にはそこでもお土産が売っており、お店の人がサービスしてくれたのでとてもよかったです。
- ・韓国に下船したとき、色々感じて迎えてくださり写真なども撮っていただきました。シャトルバスは都会まで連れて行ってきて、とても助かりました。乗船するときもお土産物屋さんさんが船の前まで来てくれていて買い物もしやすかったです。
- ・いろいろ手続きがあって下船するのに1・2時間かかるかなと思ったのですが、30分も待つことなくすぐに下船できて驚きました。お金の換金も早くてよかったです。
- ・パスポートの手続きをしなくてよく、スムーズに下船できたのでよかった。下船してすぐに換金できる場所があり、釜山での観光が楽しむための準備ができるのでよかった。乗船する際もパスポートの手続きをしなくてスムーズだった。
- ・下船時に外でも換金ができて、シャトルバスにもスムーズに乗車できたのでよかった。往復シャトルバスを利用できたので市内までも出やすく、帰りも迷わず帰ることができて便利だと感じた。

<神戸での下船時の対応についての感想>

- ・とてもスムーズに下船出来た。5階のカフェで下船時刻よりも少し早めに待っていたが、すぐに係の方が下船の案内して下さった。
- ・下船前日の夜に遊びすぎて荷物を外に出すのをすっかり忘れていたが、深夜にダメもとでスーツケースを出すと、翌朝にはきちんと回収されていた。
- ・特に混乱することなくスムーズに下船することが出来たので良かった。
- ・いったん下船してから暫く歩かないと開けた場所がないため、はぐれた友人と下船後すぐに合流するのが難しかった。
- ・人によって下船時間が異なったので会えない人がいて少しさみしかったです。書類に記入



した後、スムーズに下船できました。台風のおかげで10時くらいまで乗っていられると思っていましたが、少し早かったので名残惜しかったです。

- ・ パスポートをスーツケースの中に入れてしまっていたが、迅速に対応していただいたおかげでトラブルなく入国できて大変感謝しています。再度スーツケースの荷物検査のところに行く間も、スーツケースを持ってくださってとても助かりました。
- ・ 私はやっと関西に着いたしすぐ帰るという気分だったのですが、それ以外の地域から神戸に降りた人もいると思うので、釜山で釜山のパンフレットを渡してくれたように、神戸のパンフレットを下船時に客に渡したら、神戸きたついでに観光しようって人が増えるのではないかと感じました。
- ・ 普段みる神戸と違って、クルーズ船からの神戸はきれいに感じた。船着き場がポートライナーの駅横で快適だったし、スタッフの方も丁寧に対応されていてよかった。
- ・ 空港よりもスムーズに入国手続きや税関手続きが行われたと思います。朝食を食べてから下船までの時間が短く、5階でバタバタしていたのは少し改善してほしいです。
- ・ 手続きは非常にスムーズだという印象を受けた。どのフェーズにおいても窓口を多くしたり人手をかけていたためだと思う。ただ、個人的には検疫や検査がもっとしっかりしてほしいと思った。(差別的な意味ではなく) 韓国の魚市場を歩いたその足で簡単に日本に入国できるのでは、日本にはない病気や菌を持ち込んでしまうのではと心配になった。勝手な予想では消毒液のはいたトレーに足をいれて消毒…のようなこともするのかと思っていたので。検査についても基本的に口頭の質問だけだったので、もし自分が禁止薬物を持ち込んでいたとしてもばれなかったらよかったらと思った。
- ・ 神戸下船時には、帰ってきたという思いが強かったです。税関などの手続きも迅速でし、何よりも港湾としての対応が小樽と比べるとしっかりしている印象を受けました。施設の面でも、手続きの流れ方の面でもそれは感じました。
- ・ 神戸に帰ってきての下船時はごく普通でした。混雑が予想されてたため、あらかじめ部屋ごとに下船時間をずらしていた点についてはよかったと思いました。帰りは疲れていたためあまり覚えていません。
- ・ 荷物の受け取りなど煩わしいこともなく、スムーズに下船することができた。パスポートの点検、検疫などは、釜山の時よりもしっかり行われているなという印象を持った。
- ・ ここも、流れにそっていったら、スムーズに下船することができました。
- ・ 港の方も、誘導してくださっていたのでわかりやすかったです。
- ・ 意外と、持ち物検査などは、どこもゆるいのかなと思いました。
- ・ もっといろんな荷物チェックがあるんだと思っていたけど、すんなりと税関を抜けられた。
- ・ 釜山と比べるとスムーズに下船することができました。やはり近くに駅があることは大切なことだと思いました。シャトルバスも本数が多く、特に混雑している様子はありませんでした。



- ・どこに行けばいいかななどの案内や、係の方の誘導があったのでとても分かりやすかったです。荷物も分かりやすくおいて頂けていた点も良かったです。
- ・下船時は日本ということもあって対応は最高でした。また荷物の引き取りや税関の調査など全てがスムーズに行われていました。しかし、預けた荷物の引き取りの際のチェックが少し甘いような気もしました。
- ・下船口の近くのフロアでは、数多くの人たちが下船の準備をしていたり、思い思いの時間を過ごしていましたが、指定された時間以降に下船口に向かうと、スムーズに下船の手続きを終えることが出来ました。部屋から運んでもらったスーツケースもすぐ見つけることが出来ました。
- ・こちらもシャトルバスが出ていたのでよかったと思う。行先が元町だったの三宮での混雑を避けたのかな。下船時間をずらして下船させるなど、スムーズな下船に向けての対応がいくつもあってよかったが、下船についての説明など重要なことは文章よりも口頭でしてほしいと思った。
- ・スムーズに下船できました。下船の順序をおおまかに時間で分けてくれていたおかげで気になるほど混み合うこともなかったと思います。
- ・寝不足でギリギリまで部屋で寝ていたにもかかわらず、親切丁寧に税関の場所まで案内していただいたりして、非常に助かりました。有難かったです。
- ・まず思ったことは、日本語の係員が懐かしく思いました。下船の手続きも早く、普段の日常生活に戻るのかと思うとどこかさみしくなりました。と、思っているうちにゲートをくぐっていたので迅速な対応だったと思います。
- ・下船も最後のほうだったので15分くらいで終わったのでスムーズにいき、アンケートや審査も簡潔でした。船を降りてからはバスが無料であったのでとても助かりました。
- ・下船では時間の関係かもしれませんがスムーズに降りることができよかったと思います。施設の中も案内がわかりやすかったです。
- ・混乱を防ぐ為に事前に配布されたタグで対応していたので、下船もスムーズに出来て良かったです。乗組員さんが拡声器を通さずに話しており、私は遅れてロビーに集まった為、自分の呼ばれている番号が聞き取り辛かった印象がありますが、一か所で喋るのではなく、様々な場所で呼んで下さっていたので、丁寧な対応だと感じました。
- ・夜のうちにスーツケースを出していると持って行って下船するときにラクでした。下船する順番はスーツケースにつけたタグに書いてある色で呼んでくれたのでわかりやすかったです。
- ・神戸港ではスーツケースを運ぶのが大変なので、先に運んでおいてくれ、とても助かりました。乗船、下船の対応は私が想像していた以上のサービスをしてくれたのでとても良かったです。
- ・親切にスーツケースまで運んでくださったり、またの乗船をお待ちしていますなどの言葉をかけてくださいました。乗る時から降りるときまで対応が素晴らしかったです。
- ・自分が指定した時間にはちゃんと降りれるようになっていました。混雑することなくスムーズに下船できたので良かったです。ポートターミナルの人も挨拶してくれるし悪くなかったと思います。

- ・ 手荷物の検査をしっかりとされていてとても良かった。手荷物の検査などがあるため時間がかかるのではないかと思っていたが、スムーズだった。また、自分が荷物を探している時に係の人が声をかけて一緒に荷物を探してくださったのですぐに見つけることができ感謝の気持ちでいっぱいだ。
- ・ 下船時にちゃんとフロアに荷物がわかりやすく整理されていて、手元に荷物が返ってくるのが早くて対応がしっかりしていると感じた。また、下船してからの誘導が丁寧で、下船してから迷わずに出口にたどり着けた。神戸港～新神戸駅までのシャトルバスがあったため、新神戸駅までのアクセスがしやすかった。

スマートクルーズアカデミー1日目 「日本と世界の社会的課題を考える」

★講義内容

「国際会計問題の現状と課題」(小津稚加子・九州大学准教授)

「アジアの少子化動向と経済成長論から考える今後のアジア経済」

(橋本浩幸・兵庫県立大学准教授)

「アジアにおける、日本の地域と自治体の役割」(齊藤由里恵・徳山大学准教授)

「グローバル・ネットワークと日本の空港・港湾の諸問題」

(寺地祐介・帝塚山大学准教授)

★感想

- ・ 今度のアカデミーの参加者の中、先生達が多くて、また、先生全員も自分の分野を中心とし、該当テーマについて、プレゼンを行った。分野の多様性も感じながら、新鮮性と知識を吸収してきた。また、先生達はプレゼン中で、視聴者とのインタラクティブを拝見致しまして、プレゼンの方法として、学んだ。
- ・ それぞれの先生方の講義はバラエティ豊かで、時間も適当だったので、とても充実した講義だった。講義の内容も分かりやすかったので、どの回生でも専門分野外の学生でもよく理解出来たのではないかと思う。アカデミー後の班の話し合いで、「こういうこと先生も言ってたよね」と、先生方の講義の内容を参考にして議論がなされることもあった。ただ、会場の真ん中に柱があり、スライドが見つらなかった。
- ・ 先生方が普段研究している内容を垣間見ることが出来て良かった。質疑応答では、主に阪大生だったり4回生が質問しているという印象をうけた。先生方の課題解決方法に関する考え方を、その後の学生プレゼンに活かすという場面もあった。
- ・ 先生方の専門領域の一端を知ることができてよかったです。「人口ボーナス」や「ハブネットワーク」など、とても魅力的な研究対象だと思いました。このときはまだ政策提言のプレゼンの作成途中だったので、プレゼンのやり方もすごく参考になりました。また、プレゼン作成について直接先生に質問できて良かったです。
- ・ 普段、数式がいやで経済系の授業は避けてしまっているので、あまり聞けない新たな分野のレクチャーが聞けておもしろかった。数式まで踏み込まないで経済のことを言葉で説明



してくれたので、私にはちょうどよかった。

- ・日本の自治体が、海外にインフラを輸出しているという話は初めて聞いたので興味深かったです。というのも、自治体はあくまでその地域で活動するものだと考えていたので。公民連携で日本がもっと世界に進出できたらなと感じました。
- ・先生たちの研究テーマを知ることが出来て楽しかったし、より深く日本の課題を知ることが出来たように思う。特に、港湾や空港のハブ機能を置くために価格競争を後進国や追随者が仕掛けるという話はとても興味深く、ハブ港湾としての成長著しい釜山に上陸する前に聞いてよかった。発表されていたテーマが世界と日本の課題をリンクさせたものだったが、日本を取り巻く問題を、国際的な視点から考えることの重要性を再認識できた。
- ・小津先生の国際会計システムは予備知識がなかったので理解しにくかったですが、グローバルスタンダードと日本の基準の違いが様々な分野で深刻になっていると思いました。橋本先生のアジアの人口と経済成長の関係は斬新な発想で、経済成長には資源だけでなく優秀な人材が必要であると気付きました。斉藤先生の自治体の海外進出は北九州の例を踏まえて、地元経済を支える民間企業とともに生き残りをかけている自治体の現状がよく分かりました。寺地先生の空港や港湾の現状は、自分の専門分野の見識を深めることができました。
- ・どの先生のお話もわかりやすく興味深かったが、とくに齋藤先生のお話が印象的だった。自治体というローカルな存在が世界というグローバルな環境に進出していくということで興味深かったが、多くの疑問点が浮かんだ。自治体の世界に出て行くのは自らの意志によるものか、国の政策などで進められているのか（←それによって自治体の“本気さ”が変わってくると思う）、民間がインフラ輸出をしているのにさらに出て行く意味は本当にあるのか（これについては説明があったがさらに深く聞いてみたいと思った）、自治体が得意分野で世界に出て行くとあったが、こんどは自治体同士で格差が出るのではないか（北九州市が例としてあったが、公害を乗り越えた自治体は数多くある。しかし実際に技術輸出できるのは結局大都市に限られるのではないか）などいろいろと考える良いきっかけになった。
- ・橋本先生の人口ボーナス理論は面白いと感じました。高齢社会である日本社会が移民を受け入れるとすれば、何がその際の問題点となるのか、またアジアの発展途上国の今後などの興味をそそられる研究内容でした。また、小津先生、寺地先生、齋藤先生のご研究も、日本が今後世界の市場と向き合っていくうえで欠かせないステージでの内容だと感じました。あまり勉強した事のない内容だったので、完全に理解しているかは怪しい所ですが、大局を見る、新たな視座を与えて頂いたと思います。



- ・クルーズアカデミー初日の感想は、どの話もわかりやすかったという印象です。私は知識が全然ないので、ゼミの先生である橋本先生の話以外0の状態から聞くという状態だったのですが、そんな状態でも今、日本や世界の抱える問題についての話を理解することが出来、考える機会をいただくことができました。そのことについてとてもよかったと思います。
- ・様々な大学の先生の講義を聞くことや、私はできなかったのだが、レベルの高い質疑応答が飛び交う場に参加できて、身が引き締まる思いだった。講義の内容として、日本の公共インフラ(空港や港湾)は先進国特有の高コスト体質、他のアジア諸国の台頭もあって厳しい状況にあるのだが、先進国として今まで培ってきたノウハウを生かすことができれば、少なくともアジア諸国の中では、有利な立場に立てるのでは、という印象を持った。
- ・小津先生のお話で、印象に残っている言葉が、「重要なことは、経営者が心の中で何を思っているかである」という言葉で、会計のルールは経営者にとっては重要なもので、ルールづくりはとても大事な作業なのだと思いました。
- ・橋本先生のお話は、人口ボーナス論、生産関数などの話題が出てきて、普段ゼミでも学んでいる内容だったので、聞いていてよく理解できました。
- ・4人の先生のそれぞれ違う分野やテーマのお話を聞き、日本の現状や課題を改めて知ることができて良かったです。
- ・どの先生のお話も興味深い内容だった。まず小津先生のテーマのIFRSに関しては今まで興味を持ったこともなかったし、このような機会がなければ考えることもなかったと思う。会計基準は経済のインフラみたいなもの、という説明を聞いて、IFRSが一気に身近なものに感じた。橋本先生のお話は、5月に自分でも少し調べたテーマだったので、ある程度はきちんと理解できたと思う。人口が減少を続けても経済発展を続けるには、人的資本が大事だというお話もあったように、価値ある人的資本を生み出すような教育制度なども考えていきたいと思った。齊藤先生のお話にあった公民連携というキーワードは今後も重要になってくるだろうなと思った。どの自治体も、どの企業も、その地域のためになることをすることで回りまわって日本全体の活性化につながると思う。寺地先生のお話は、クルーズに来る前に自分で少し調べていたテーマで、自分の班のプレゼンにも役立つテーマだった。特にハブに関するお話は空港だけではなく、いろんなところで生かせると思う。(たとえば地域と地域、人と人など)
- ・齋藤先生の発表の中で自治体は海外展開の橋渡しにしかになっていないのでは、という言葉に強く興味をひかれました。日本のグローバル化の促進を支えるためにはやはりインフラが重要なものであるということに改めて気付きました。寺地先生の発表ではハブスポークという新たな用語習得できました。一見良い面しかなさそうに思えたのですが、どのような制度にもデメリットとメリットが存在するのだ



など実感しました。

- ・ もっと長く講義をして欲しかったと思える時間でした。どの先生のお話也非常に面白く勉強になりました。自分も含めですが、もっと学生が発言をしていればなお良かったかなと考えます。
- ・ 人口ボーナスの話が面白かったです。また、人口ボーナス期を過ぎてしまった日本のような先進国では、高等教育の充実のほか、どのようにすれば生産性が上がるのかということが気になりました。
- ・ 前回とはまた違った先生方からお話を聞くことが出来ました。途中で休憩をはさんでコーヒブレイクがあったのは本当にうれしかったです。それぞれの先生方から特徴のあるお話を聞くことが出来たと考えます。先生によって話し方も話す内容もばらばらで、お話を聞いてて考えさせられることもあったので良かったです。
- ・ 今回も普段聞けない他大学の先生方のお話を聞くことができてよかった。小津先生の会計のお話は、英語のスライドでわからない単語もしばしばあったけど、意味を考えながら話を聴くことは話をより慎重に聴くことにもつながったと思う。IFRSについても、ちょうど夏に勉強していたことと重なる部分があったから楽しかった。寺地先生のお話も、私たちのグループのテーマに重なるところがあり、とても興味深いお話だと思って聴いた。
- ・ 前回のクルーズの講義で聞いた話もあったのですが、前回とは違った角度からの質問も聞くことができたので興味深く感じました。特に、寺地先生の「グローバルネットワークと日本の空港・港湾の諸問題」がテーマの講義が面白く感じました。単純なシステムを空港・港湾インフラという複雑なネットワークへ応用していく過程に感心しました。
- ・ 各大学の先生の講義により、日本が抱える様々な現状と課題が見えました。
- ・ 橋本先生の講義が特に興味深かったです。
- ・ 何より、これまで勉強した内容が随所に出てきて面白かったです。
- ・ 先生方の発表はレベルが違いました。みなさん学生にも分かりやすくしかも深く食い込んだ観点でプレゼンしていただき、各先生方、内容を理解することができました。そしてグループのプレゼンがダメだと気づき、大きく手直しし、より内容の濃い発表ができたと思います。
- ・ 国際会計問題やアジアの少子化問題、アジアに向けた地域や自治体の役割、日本の空港や港湾の問題はすべて日本の経済にかかわるとも興味深いテーマでした。先生方のパワーポイントはとても参考になりました。ありがとうございました。
- ・ 日本と世界の社会的課題を考えるということで、先生方の発表を通じていろんな視点からの考え方など課題が見つけることができました。
- ・ 今回様々な先生方のお話を聞かせて頂いて、とてもためになりました。私は経済学を専攻



している為、中でも橋本先生の人口ボーナス論に興味を持ちました。私が知識より深みに突っ込みをいれた講義はより深く学んでみたいと思う好奇心に繋がる内容となりました。また、最近では環境という分野を耳にすることが多い為、斎藤先生の講義内容にも惹かれました。

- ・ 先生方のプレゼンを聞いて思いましたが、基本的に内容が難しかったです。経済成長論で、アジアの出生率が下がっている課題としては、今後大きな問題になってくるのではないかと思いました。印象に残ったのは、橋本先生の人口ボーナス論と寺地先生のノードとハブです。主に、他大学ですが、質問をいっぱいしてすごいなあ。と感じました。
- ・ 橋本先生の人口ボーナス論のお話を聞いて、日本の出生率は年々減少しているけれど、人口が多いからといって良いというわけではないことがわかりました。ただ人口が多いということよりも、労働者の質を上げていくことが大事である、ということがわかりました。
- ・ 寺地先生のグローバルネットワークと日本の空港のハブのお話では、私の班で話し合っていたことと似ており、興味を持って話を聞くことができました。"
- ・ 先生方のプレゼンを聞いて、少しお話が難しかったのですがとてもためになりました。今の日本についてのお話が多かったのでとても自分たちに関係がないとは思えないので自分の考え方を見直す良い機会になったと思います。
- ・ スクリーンは英語で先生は日本語で話されるので見たり聞いたりするので精一杯でした。
- ・ 聞いたこともない専門的な用語などがたくさんあり難しい話で四回生になるころには理解できるようにならないといけないんだろうなと思いました。
- ・ 普段、大学で行っている講義とは違って新鮮だった。他大学の先生方に講義をしていただける機会はほとんどないためとても貴重な時間となった。また、自分が履修している講義の内容につながるものもあり勉強になった。今回のクルーズアカデミーで日本が抱えている課題を学び、これからの日本の動向に注目すると同時にしっかりと世界へ視野を広げていくことが必要だと感じた。
- ・ スマートクルーズアカデミーで他の大学の先生の講義を聴くことができ、世界規模で、社会情勢や財政の情報を得ることができた。また、他大学の先生方の講義を複数聞けるチャンスはめったにないので今回の講義は貴重であった。今後日本は事業環境の整備と関連支援策の充実が課題であると考えられる。そして、社会的企業の発展の可能性はこれから、さらに高くなっていくのではないだろうか？スマートクルーズアカデミーでの講義をしっかりと頭に刻んでおきたい。

スマートクルーズアカデミー2 日目

「港湾他インフラの機能強化と交流拡大による地域活性化」

★講義内容

基調講演「プリンセスクルーズの挑戦」(木島榮子・カーニバルジャパン代表取締役社長)

基調講演「関西における物流戦略チームの取り組みや課題と港の現状」

上村多恵子(京南倉庫代表取締役社長、京都経済同友会常任幹事、関西経済同友会幹事)

「世界の港湾・クルーズ動向・地域活性化に向けて」赤井伸郎(大阪大学教授)

現場編前半 参加港湾における客船誘致の取り組み (各港湾7分 ×6団体)

現場編後半 参加港湾における客船誘致の取り組み (各港湾7分 ×5団体)

★感想

すべての自治体さまにプレゼンしていただきましたが、似ている部分もあり、数も多いことから、中たるみ感もありました。次回からは、工夫が必要かもしれません。1分のフラッシュトークのあと、パネルディスカッションなど。。。

- ・ 皆は自分のプレゼンに対する、熱情を感じ取り、特に、木島社長が「外国の客船のまま、日本観光客を取り入れ作戦」についての話を聞きまして、自分なりに考えて、この異国の新鮮感と、時差のないが海外にいる臨場感が若者達にとって、魅力の一つであるだろうと思う。
- ・ 各港湾の説明が長かったと感じた。次回以降は持ち時間を厳守してほしい。各港湾の個性も十分伝わってきて、かつ、担当者個人の熱意も伝わってきたが、木島社長や赤井先生へのプレゼンという感じで、学生が少し置いてけぼりになっている印象を受けた。木島社長と上村社長のお話はリラックスして聞けた。学生も疲れてきているので、コーヒーブレイクを(短くても良いので)もう少し回数を多めに取ってほしいと思った。
- ・ 他県の港湾との差別化と協力が今後の課題なのだということを学んだ。日本国内からのクルーズの誘致よりは、海外のクルーズ船の誘致に力を入れていってほしいなと感じた。
- ・ 時間の制約が厳しいように感じられた。他県の港湾と港湾に関するパンフレットを配布してくれた方が、後にも残るし見返すことができ、かつ口頭説明の時間も減るのではないかなと思った。



- ・木島社長のお話でクルーズについて理解を深めることができました。上村社長のお話では、学生社長だったことにまず驚かされ、その精力的な活動からエネルギーをいただきました。また、地方自治体のクルーズ誘致の現場を生で見ることができたので、貴重な社会勉強になりました。プレゼンの熱心さを見て、クルーズ誘致への強い想いが伝わりました。



そしてクルーズが地域活性化に与える影響が大きいということを実感しました。

- ・金沢「おもてなし」の取り組みがとてもおもしろいと思った。大阪大学にもよさこいのとてもよいサークルなどがあるので、港湾のお見送りなどなら学生もクルーズ振興に協力できるのでは、と思った。そうしたら、クルーズに興味を持つ学生も増えて、クルーズと若者をつなぐ役割にもなる。
- ・プレゼンした人がいまいちだった都市は、その港までいまいちに思えてしまった。
- ・社長直々にお話頂いたことが一番印象に残っています。サンプリンセスが歴史の長いものだということや、また今年から日本の客船の本数は減らすという話を聞いて、こんなに素敵なものなのにもったいないなと思いました。日本でのクルーズ振興を考えさせられました。
- ・このセッションはクルーズ・港湾の現状を産官学それぞれの視点から聞くことが出来て、とても楽しかった。特に、カーニバルジャパンの木島社長と京南倉庫の上村社長の話は日本のクルーズと港湾が抱える問題点を当事者の立場から取り上げられたものだったので、貴重なことであると同時に、それら日本の抱える問題の難しさも感じた。自治体のクルーズ誘致の発表はとても様々なものであり、優れたものから物足りなさを感じるものもあった。しかし、あれほど多くの自治体が誘致に向け活動しているという現状をみて、クルーズの経済効果は大きなものであるんだと実感した。中には市町村レベルと都道府県レベルでかなり連携してクルーズ誘致に取り組んでいるところもあり、とても感心した。赤井先生の話ではクルーズ誘致の意義やその効果測定などの注意点を強調するものだったが、話にあったとおり、クルーズ誘致の効果をきちんと調査・吟味することがかなり重要に思った。
- ・木島社長や上村社長のお話は、日本のクルーズや海運の現状とビジョンを経営者の立場から説明してくださり、商業ベースで交通事業を考える必要性を感じました。各港湾関係者のお話を聞いていると、自治体によってクルーズ船誘致に対する取り組みや熱意に差があったように思いました。国交省のクルーズ船誘致の担当者のお話も聞けたら、より深く考えることができたと思います。
- ・2人の女性社長という珍しいプレゼンターだったが、話が非常に分かりやすかった。お話をきいて、お2人が単にサービス業のクルーズと運送業のロジスティクスという範疇におさまらず、日本のヒトモノカネの流れを活性化・効率化させて日本を発展させていくという目標をもって、そのうえで自分が何をしていくべきかを考えていらっしやることが伝わってきた。尊敬できる人がまた増えた有意義な時間だった。

- ・まず木島社長、上村社長のお話は、実務を経験したことのない私の来年から社会で働き、生き抜いていく身としての考えや仕事への取り組み方を変えたであろう影響を頂きました。ありがとうございます。お二人のお話と港湾関係の方々のお話を聴いている中で、いかにクルーズが今後の地方活性化の起爆剤として期待されているかを感じました。正直に言つて、魅力的だと思える県もあれば、それほど惹きつけられなかった県もあります。しかし、それはプレゼンや県としての指針の打ち出し方による差だと思っています。今後クルーズ寄港の取り合い、もしくは連携の内容がより具体的になっていく事が楽しみです。
- ・クルーズアカデミー2日目の感想は、クルーズ業界の現状、課題について普段は聞くことのない貴重なお話を聞けるいい機会だったと思いました。クルーズ会社がクルーズを商品としてどのように扱ってきたか、これからどういう戦略をとっていくか、また、従業員についての考えなど企業の社長から直接聞くことができました。また、各県の港湾関係者の方々の話から、それぞれの県でクルーズの寄港地にしてもらうことで各地域を活性化させようとしている点について、ただのお役所仕事だけではないのだなと思いました。
- ・4日目でクルーズの良さを味わっている中で、講義を聞いたので日本でもクルーズが受け入れられるのではないか、と思った。また、港湾関係者の方のプレゼンを聞かせてもらい、クルーズが寄港地の地域活性化に大きく貢献している、という今までには見えなかった面に気づくことができた。社会人の方の本気のプレゼンを見る機会は滅多にないので、今後の就職活動や社会に出てからの仕事にも参考にしていきたいと思った。
- ・様々な県の港湾関係者の方のお話を聞くのは、初めてのことだったので、それぞれの港の取り組みが知れてよかったです。港湾関係者の方たちは、寄港地として県全体を盛り上げるために様々な努力をされていることが分かりました。
- ・私は鳥取県出身なのですが、境港であのような取り組みがなされていることは知らなかったため、おもてなしの力がすごいなあと、感動しました。境港をはじめ、寄港地として利用してもらうことで、特に、人口減少や過疎化が進んでいる県は、大きな経済効果が得られると思います。クルーズがもっと広まることに期待して、自分自身も何か貢献できたらいいなと思っています。
- ・本当に全国さまざまな土地から港湾関係の方々が集って、それぞれのお話を聞くことができるなんて貴重な機会だったと思う。どの港の方も、港の活性化、そしてそれに伴う地域の活性化に一生懸命なのが伝わってきた。港湾関係の方々にとっても、今回はとてもいい機会だったんじゃないかと思う。地域と地域で互いに勉強し合って、いかせるところはいかにしながら、港湾活性化が進めばいいなと思った。
- ・木島社長のお話を聞き、他国と比べて日本のクルーズ人口の少なさに驚きました。日本のクルーズ人口を増やすためには、まず日本語を話せるスタッフを今よりも増やす必要があ



るのではと今回のクルーズに参加して思いました。そして日本は世界的に見ても長期休暇の取りにくい国であると思うので、もっと今回のような短期のクルーズの回数を増やしてみるのも良いのではと思いました。また赤井先生のお話を聞き、橋の高さによって今後受け入れることのできる船が少なくなってしまうのではないかと心配になりました。

- ・長崎の方や境港の方など挨拶にも来ていただきましたし、バスケもして頂いたり親近感もてました。しかし交流拡大という面で考えた時に、あまり交流の幅が増えたようには思えませんでした。積極的に挨拶に行けなかったというのがありますが、学生と港湾の方で共に活動をする機会もあればなと考えます。それを増やせると、クルーズで訪れるのは難しくてもそれ以外の観光で訪れる結果になるのではないかと思います。
- ・普段の講義とは違ったジャンルの話を聞いて良かったです。また、各港湾関係者の方々の話を聞いていると、そこまで努力しなくてもクルーズ船を誘致できる横浜、神戸とその他の地方の港との差を感じる事が出来て面白かったです。
- ・各港湾都市が、どのような工夫をしているのかということや、どのような誘致を行おうとしているのかまた、行っているのか、知る事が出来て良かったです。地域によって成果を上げているところがある半面、まだまだこれから様々なことを行おうとする地域もあつたりして、大変興味深いと感じました。
- ・自分たちが乗っている船の社長のお話を間近で聴くという貴重な経験だったと思う。偏見かもしれないが、乗客も乗員もどちらも大切という姿勢はやはり日本人特有のものだろうか。
- ・社長達の仕事への思いなどいろいろと聴くことができよかった。
- ・前回のクルーズの時よりも港湾関係者の方々の話がまとまっていて聞きやすく感じました。特に、敦賀港の方のお話に惹きつけられました。観光する立場にいつもいるので、人をいかに呼び込むかを考え観光を作り出す立場である港湾の方々の話は新鮮に感じました。
- ・各港の方々がクルーズの招致に熱心であり、各地様々な魅力がありました。
- ・名物、景色、イベント、ゆるキャラ、広さなど詳しくてわかりやすかったです。
- ・個人的には、地元滋賀から電車1本ですぐ行ける敦賀港を応援します。"
- ・発表原稿の手直して正直詳しく聞くことができませんでした。しかしみなさん、地域復興に強い思い入れを抱いていらっしゃるというのがよくわかりました。必死さがこちらにもひしひしと伝わってきました。自分は新幹線を使った地域経済の発展をプレゼンしたので、今度はフェリーを用いた調査も興味がわきました。
- ・青森や鳥取といった遠方からお越しになられた方々のお話はとても魅力的でした。2日目のWelcome Partyの際にお話を伺った境港市役所の木下さんと阿部さんには社会の知識や自分の進みたい職種の話聞かせていただきとても感謝しています。近畿から東北ま



で行くのはとても大変ですがクルーズなら降りてすぐ観光できるので楽しめるのではと思いました。

- ・ 港湾の方々の発表でそれぞれの課題や問題点があることがわかりました。港の開発を進めることでより大きな客船を迎える事ができるなどといった大変興味深い内容だったと思います。
- ・ 今回参加させて頂いたクルーズと関連する港湾インフラの話が中心の為、より身近に感じて聞くことが出来ました。木島社長の話して下さった内容はその現場を見ているだけあって、クルーズの現状と共に将来の新規開拓を目指す、という説得感のあるものであり、また今後についての課題とあって、未来を背負うミレニアム世代としては見て見ぬ振りを出さない内容だと感じました。
- ・ 今まで港、というものに目を向けるということがなかった為、どの方の内容もとても新鮮なものでした。
- ・ 赤井先生と港湾関係者の方々の話を聞いて、特に港湾関係ではどのようなことをしているのか、など一部ではあると思いますが、知ることができてよかったです。物流のことについては、クルーズ乗客者2000人の5日間の食事はどうするのか？などは、すごく気になりました。
- ・ 日本は観光資源が豊富で治安が安全であるので、日本発着のクルーズが外国人に人気であるということがわかりました。クルーズブームの国もあるということがわかり、驚きました。ロジスティクスとは必要な物資の補給という意味であり、港、空港、道路の整備の発達がカギであるけれど、労力、時間、コストがかかりすぎるとということがわかり、難しいなと思いました。
- ・ クルーズをしている間に釜山や小樽などの市民の方々が小樽の場合は太鼓で出発を祝ってくれたり、子供が手を振ってくれたり、釜山では、現地の人が出発の際歌を歌ってくれたりしていて、クルーズには地域の方々の協力もあり成り立っているのだなと思いました。
- ・ 各県それぞれクルーズ船の誘致のためにどのような活動をされているのか理解することができた。クルーズ船の誘致活動は各県で結果が出ているので、今後クルーズ人口が増えるのではないかと感じた。各県それぞれ地域の特色を生かした取り組みを行っており、クルーズ船に乗って各県に行ってみたいと思った。出身が広島だが広島がクルーズ船誘致にどのようなことを行っているのか初めて知ることができた。アカデミーを通して地元の人々の理解をしっかりと得て、地元全体でクルーズ船のおもてなしを行うことが大切ではないのかと感じた。
- ・ 今回参加した港湾の方がどのようにしてクルーズ船を誘致しているのかということがよくわかり、各県の地域であらゆる取組や、誘致活動の結果が実っていて、これからも、大きな成果がでることは明らかであると感じた。私達にも何かできないか考えたところ、私たちにできるのは、少しでも多くの人にクルーズ船のいいところを伝えて、たくさんの人に直接乗って、クルーズをすごさ、楽しさを知ってもらうことだと思った。

スマートクルーズアカデミー 「交流スポーツアクティビティ」

★スポーツACTIVITY(ジョギング、バスケットボール大会)の感想

- ・朝起きてのジョギングは非常に難しいが、そのおかげで、綺麗な写真を取れたので、嬉しかった。
- ・バスケットボールは体を鍛えた上に、学生さんのコミュニケーションを推進したと感じた。
- ・学び、健康、行楽のバランスがちゃんと取れた。
- ・ジョギングは一度しか参加しなかったが、思ったより人が少なく、少人数でコミュニケーションが取れて良かったと思う。球技が苦手なのと、他のアクティビティを満喫していたため、バスケットボール大会は参加出来なかった。
- ・活動中は、プレゼンのメンバーともプレゼンに関する話以外のお話が出来て良かった。良い協力関係が培われた気がした。二日目のジョギングに参加していれば、もう少し早く他班のメンバーとも交流を深めることが出来たのではないかと思った。
- ・バスケットボール大会では先生方が一番楽しそうに取り組んでいるように見えました。大人とスポーツする機会はありませんので新鮮でした。自分もバスケットをするのは久しぶりだったのでとても楽しかったです。海風にあたりながらスポーツをするのはすごく気持ちよかったです。朝からいい汗をかいて一日をスタート出来ました。
- ・ごめんなさい眠すぎて&グループワークで行けなかったです…
- ・スポーツactivityがあることで、同じグループ以外の人達とも仲良くなれました。バスケットでは、誰が味方かを覚えるのに必死になったことで、クルーズ参加者の顔と名前が一致しました。
- ・アクティビティはとても楽しかった。他大学や他学年の人と交流する機会が持てたことはとてもいいことだったし、教員の方とも交流する機会がもててよかった。あいにくジョギングは朝参加することが出来なかったが、またこのような機会があれば参加したい。
- ・プレゼン準備でスポーツアクティビティに参加できませんでした。しかし、自主的に卓球をしたり、ジムでトレーニングをしたりして、楽しく汗を流すことができました。
- ・スポーツアカデミーはプレゼン準備のため参加できず残念だった。
- ・ただ前日にB班とE班対抗でバスケットボールを行った。やはりスポーツは理屈や計算とは全く別の次元で人と人を結びつけると感じた。みんな自然に笑顔になるし会話が増えたので、もっと早い段階でスポーツ大会があってもいいかもしれない。船上で運動ができる



とは思っても見なかったが、海風がなんとも心地よかった。

- ・ 学生同士だけでなく、学生と教授の方々の親交を深めるうえで大変良かったと思います。今回、このようなスポーツを通じて交流して頂きありがとうございます。グループワークでの気疲れや食べ過ぎの解消にもピッタリだったと思います。



- ・ スポーツアクティビティについては全体的に楽しかったです。朝のジョギングは私は朝起きられなかったので参加できませんでしたが、バスケットボール大会には参加することが出来、他大学の皆さんとスポーツを通して交流できました。私は人見知りでなかなか自分から話しかけることができないので、こういった取り組みはすごくありがたかったです。
- ・ 船の上で走ったり、バスケットをしたりできるとは思っていなかった。私たち以外の客のなかにも朝走っている人もたくさんいたのには驚いた。知らない人たちと親睦を深めるために、スポーツはとても良い機会だと思う。今回もバスケットボールを通じて、話をするだけではわからない部分も垣間見えて楽しかった。
- ・ ジョギングもバスケットも、朝起きられず参加できませんでした…。申し訳ありません。
- ・ 朝のジョギングにもバスケットボール大会にも参加しなかったけれど、しておけばよかったと思う。スポーツでの交流は食事の席やほかのアクティビティの場とも違う空気に参加者とコミュニケーションをとれるし、親睦が深まったと思う。私はスポーツは苦手だけれど、問題はそこではなくて、参加しようとする気持ちだと思った。
- ・ 朝のジョギングはとても気持ち良くてすがすがしい朝を迎えることができました。なかなか日常生活でジョギングを習慣づけることは難しいですが、朝走ることによって効率の良い一日を迎えることができると思うので、今の生活に朝のジョギングを取り入れることを目標にしたいです。
- ・ 朝起きられなく一度もジョギングには参加できなかったのですが、バスケ大会は本当に楽しく親睦が深まったと考えます。普段見られない先生方の姿もみることができ新鮮でした。
- ・ 皆が参加していたわけではなかったが、勉強とは別に、大勢で体を動かそうという企画は良かったと思います。船内ではどうしても食べ過ぎてしまうことが多く、このような機会は大変ありがたいものでした。
- ・ 前回の時はもう少し早い時間に一人で走ったりしていましたが、今回はほかの学生に含ませて遅めの時間に一緒に走りました。朝から走りつつも、同じ大学の下級生と話すこともでき、良い時間を過ごせたと思いました。バスケットボール大会は、寝不足が重なり体力がついていけなかったため、参加はできませんでした。
- ・ グループワークに時間をかけすぎてスポーツアクティビティは最終日の夜に少し卓球をしたくらいで、ほとんど参加できなかったのが心残りだ。結局バスケットボールのコートはどこにあるのかわからなかった。おかげさまで少々増量したかもしれない。

- ・ ジョギングは参加していません。バスケットボールはB班とE班でしたが、楽しむことができました。バスケットボールコートはあまり広くありませんでしたが、家族や友達とクルーズを楽しむ分にはこれぐらいがちょうど良いと感じました。
- ・ バスケットボールが船の上でできて、班のメンバーと非常に距離が近くなりました。対戦相手の班とも交流が深まりました。
- ・ せっかくなんですが、全く参加できませんでした。船の上でバスケットか揺れないのかなど疑問を残してしまいました。次回参加させてもらえるなら、疑問が一つも残らない旅にしたいと思います。
- ・ 夜まで騒いでいて疲れていたのがジョギングとバスケットボールの両方に参加できませんでしたが1日目の夜にグループのメンバーでバスケットをやりました。初心者でしたがとても楽しかったです。
- ・ スマートアカデミーのイベントには一つも参加できていませんが、これもグループで完成に近づけていけば参加できたと思うので、みんなが参加できるようにしていきたいと思います。
- ・ 他大学とチームを組み何かをするというのは、有意義な時間となりました。バスケットボール大会には観客といった形で参加しましたが、大会の合間に交流を持つことが出来て良かったと思います。
- ・ バスケットボール大会に参加しました。じゃんけんでチームを決めたので他大学と一緒にチームになり、交流ができました。参加してすぐ、シュートが決まり、自分でもびっくりしました。
- ・ 私はジョギングやバスケットボール大会には参加できませんでしたが、他大学の人たちとスポーツを通じて交流できるので、とてもよいと思いました。また、クルーズ船に乗る機会があれば是非参加したいと思います。
- ・ ジョギングは朝起きられず皆と走ることはできませんでしたが、違う日に少しウォーキングしてみました。海の上での初めてのウォーキングは歩いていると海の心地よい波の音が聞こえ星が満天で流れ星までも見ることができ、心をリフレッシュできました。
- ・ 起きることが出来なくて参加することができませんでした。
- ・ 船内でのジョギングは地上でのジョギングとは違って風がとても気持ちよかったです。バスケットボール大会は途中から参加したが、楽しい時間が過ごせた。しかし、プレゼンの準備や朝起きるのがつらいなどといった理由で参加者がそれほど多くなかったのでたくさんの人と参加しなかった。
- ・ 今回バスケットボール大会には参加できなかったが、朝、テツキをジョギングしてみて、貴重な体験ができたと思った。海の上を走っているようで、風も涼しく、空気もよくて、日頃外を走っているときの間隔と全く違って楽しかった。また、海を見ながらジョギングできた



ということが特に心に残っている。

スマートクルーズアカデミー 「学生グループワークとプレゼンテーション」

★準備段階の感想、発表時の感想、交流の意義など

- ・ 第三者の立場で、五つのグループのディスカッションのあり方と皆さんは自分のテーマに抱いた熱情を感じた。非常によい所は、皆さんは協力しながら、競争している。お互いのグループのプレゼンに意見を出し、夜中までも頑張っ作りと熱いディスカッションを見届きました。
- ・ 時間が限られている中でかなり頑張ったと思う。交流が目的であることを全面に出してしまうと、手を抜いてしまうかもしれないので、今回のようなプレッシャーは結果的には必要であったと感じた。前は、阪大生が率先して行動している様子が見られたが、今回は各大学がそれぞれ良い個性を出しており、阪大生もあまりまとまっていなかった（良い意味で）、クルーズの中だけのコミュニティで仲良くなることができ、とても良い雰囲気だったと思う。
- ・ 乗船前、同じ班のメンバーと顔を合わせることなく準備をするのが少々不安だった。（特に私は事前説明会にも参加できなかった）話を進めずらかったり、意見を促すのがどの程度までしていいのか迷ったりした。
- ・ 乗船後の準備では、その日の終了時間と進度目標を決めてから取り掛かったのがすごく良かったと思う。突き詰め始めるとどこまでも行ってしまい終わりが無い、という事態になることを防ぐことが出来た。
- ・ 赤井先生からの各班への講評を聞きたかったです。
- ・ 乗船前まではまだ会ったこともないメンバーもいて、うまく協力して政策提言できるか心配でした。しかし実際に会ってみると意欲的なメンバーだったのでとても助かりました。プレゼン作成の面でも、リーダーシップの面でも学ぶことが多かった。みんなで課題に精一杯取り組むことで深いつながりが生まれたと思います。
- ・ グループワークがなかったら、仲の良い子と最後まで一緒に過ごして終わってしまったと思うが、ワークのおかげで他大学の人も深く接することができてとても楽しかった。ただ、グループワークのための時間を日中多めに取るなどして、夜はもう少し早く寝たかった。



- ・初めは、お互いに顔も知らない人達とグループワークできるか不安でしたが、それぞれが違う視点から同じ課題に対して意見を言い合えてよかったです。ただ、発表の後の質疑応答の時間が短く、先生方の質問だけに絞られたことは、たくさん学生がいるのに少しもっとなかったかなと感じます。
- ・準備段階では顔を合わせていないメンバーがどうやって打ち解けるかを考えるのが難しかったが、班活動全体を通して打ち解けあうことが出来てよかった。運営の問題として先行研究などをどの程度調べるべきかというような発表概要がわかりにくかったという問題や質疑応答をまとめてしまったことで、学生間の意見交流があまりなされなかった問題があると思った。しかし、このグループワークにより、大学間の壁を低くし、全体の交流をするきっかけになったので、とても良かったと思う。
- ・乗船前に班の全員と直接話す機会がなくて、十分な準備ができませんでした。しかし、乗船してから全員でアイデアを出しながら、一致団結して発表することができたと思います。グループワークやプレゼンのおかげで他大学の学生とも十分に交流できたと思います。
- ・個人的にはプレゼンは皆が仲良くなるためのツールくらいに思っていた。そして結果としてその仲良くなるという目標は達成されたと思う。(常にいい雰囲気、肩肘張らず、お互いの意見を尊重した話し合いができたし、プレゼンを早々に完成させ、メンバーの一人のバルコニー室に全員で集まり、持ち込んだワインで乾杯したのはうちの班くらいだったに違いない！)
- ・ただ最初はプレゼンの質にこだわっていなかったものの、いい意見を出してくれたり、しっかり下調べをしてきてくれたり、必死に自分のできることを探してくれたりと協力してくれるメンバーの姿勢を見て感じて、リーダーとしてもいいプレゼンをつくりたい思い出にしてほしいと思うようになった。
- ・結果、寝不足にはなったが短い期間の中ではなかなかのものができたと思う。メンバーに本当に感謝している。
- ・今回、このクルーズで一番私自身の予想に反した結果になった活動はこのグループワークです。想像以上の収穫でした。私は、政策提言を目的にした勉強をした事がなく、ましてやサークル以外でのリーダーの経験はありませんでした。また、今回のクルーズ中はネットが無いという事で、準備の入念さやいかに内容を削り、論理武装を完成させるかが課題でした。しかし、こういった状況だったからこそメンバー全員が(程よく)危機感に迫られながら、一丸となり親睦を深められたのだと思います。私自身の収穫としては、他の国共4年生のリーダーたちと意見交換をしながら彼らの考え方を盗めた事です。そしてグループとして、後輩の子たちが今回の経験や考え方、プレゼンの仕方等が、今後に生かすことの出来る糧になっていれば、本当に大成功だったと思います。



- ・学生グループワークについて、これについては今回一番勉強になったと思います。他大学のひとたちとの交流、知らない人と1から作り上げていくプレゼン、考え方、話の論理性、組み立て方など、どれも自分には欠けているものでした。フェイスカッションにおいて、私は正直なにも役に立てず、グループの皆さんが作りあげていくのを見ているだけでしたが、そのなにもかもが勉強になりました。またこのような機会があれば今回の経験を生かして、頑張ろうと思いました。

- ・今回のクルーズで一番頑張ったことは、この学生グループワークだと思う。事前の準備段階は、お互いが顔を合わさらない中での作業だったので、役割分担を悉皆と決め、各自がやるべき仕事をきちんとやるのが重要だと感じた。クルーズで集まってからは、プレゼンを作るのだが、準備段階では気づかなかった穴が色々見えてきたのに、ネットが使えず調べることができ



ないというもどかしい状況に陥ってしまった。準備をもっとしっかりやるべきだったと少し後悔した。連日夜遅くまで皆で話し合い、最終的には良い出来のプレゼンができたと思う。正直一人で やっていたら、こんなに時間はかからなかったと思う。しかし、多くの人が集まって議論を重ねたからこそ、改善点などを見つけ、より良いプレゼンにすることができたのだと思う。時間はかかったが、大学間の交流を持てて、お互いに仲良くなれた。このつながりはクルーズ後も続いていくことを考えると、価値ある時間だった。

- ・リーダーの阪大堀内さん、県立大中川さんが主にひっぱってくれて、話し合いもスムーズですごく頼りになりました。自分の未熟さも知ることができ、今後このような機会があったら、先輩方を見習って、チームに貢献できる人間になりたいと思いました。他大学の方達とプレゼンすることで、新しい考え方や、発言の仕方など、多くのことを学ぶことが出来ました。

- ・クルーズ乗船日、初めて班のメンバーで顔合わせをしたときは、3日後のプレゼンがうまくいくのか本当に不安だった。インターネットもお金を払わなければ使えない状況だったし、テーマに関してもまだきちんとは固まっていなかったからだ。実際、乗船してからみんなで話し合いつつテーマを固めて、みんなで自由に思いついたことを発言して、ああでもないこうでもないとい



いいながら今回のぐるぐるモデルが生まれた。そのような意味では、インターネットを使えない状況がいいように働いたのではないと思う。自分たちが持っている知識とみんなの自由なアイデアで作出したぐるぐるモデルは今後も忘れられないと思う。発表に関しては、反省点だらけ。緊張してしまって話したいことの半分も伝えられなかった。プレゼンが

上手な人も苦手そうな人もいたけど、上手な人は堂々としていて、メモを見ながら話すというよりはパワーポイントのページをちらちら見つつ、話したいポイントを一つずつ述べていく感じだった。メモを作ってしまうと、メモに気を取られてメモに書いてあること以上のことを話せなくなる気がしたからだ。次にこのようなプレゼンの機会があれば、今回の反省点を生かし、上手な人の特徴を真似をして本番に臨みたいと思う。プレゼンは見やすいパワーポイント資料と、話し方で決まる。

- ・他大学の人たちとは、イベントで交流するということはあってもこのように真剣に議論して、プレゼンを完成させるという経験は今後殆どできないと思うので、大変自分にとって良い刺激となりました。また、来年の3月に就職活動をひかえているのでそういう意味でも、チームのメンバーも良いライバルに思えました。
- ・他大学の方の交流という面ではものすごく良い機会でした。準備期間がもう少し早ければ早期に皆で顔を合わせ話し合いができたのではないかと思います。SNSのみだとどこまで発言していいのかなど気になってしまい、遠慮がち・全く会話に参加しないケースが他班でも見受けられました。またクルーズ日数に見合うグループワークの質という条件を設ける必要があるのではないかと考えます。もうあと一日クルーズを楽しみたいという気持ちにもなりましたが、達成感があり非常によかったです。
- ・発表準備に少し時間をかけすぎた感じはしましたが、他大学の方々と議論を交わすことで自身のモチベーションが上がりました。また、勉強以外でも親交を深めることができ良かったと思います。
- ・乗船までにグループで集まることもできず、不安なまま乗船日の前日を迎えました。しかし、前日にジンギスカンのお店に行くことで交流できたのがきっかけで乗船初日から、関わっていくことが出来て良かったです。結果を先に述べると、プレゼンの発表は発表の準備不足で、あまりうまくいかなかったと思います。まだもう数時間あれば、台詞を言う練習や準備ももう少しでき、より完成度の高いものにできたのではないかと反省しています。ただ、毎日のようにプレゼンの準備のために時間を作って集まっていたので、もう少し時間がほしいと思いました。
- ・事前の準備はグループ内のそれぞれが忙しく直接会うことができず、SNSでの交流にも限界がありほとんどできなかったため、船の中での準備が大変だった。今回はほぼ全員が初対面で異なるバックグラウンドだったということもあり、議論の中で多彩な意見や案が出て、それを一つにまとめることはとても楽しかった。発表の5分前までパワポを作り直したが、私たちの班は全てのスライドをみんなであれこれ言い合いながら作ったから不安もなかった。他の班から面白かったと言ってもらえたことが嬉しかった。港湾関係者の方々にも聞いてほしかった。
- ・グループワークの準備について…乗船前から打ち合わせや下調べをでき



たので乗船後もスムーズに準備をすることができました。

- ・プレゼンの準備について…熱心になりすぎて睡眠時間を削ってしまうことが多くありましたが、その分班でしっかり話し合うことができました。他の大学の学生と論じ合い、途中から院生の方からアドバイスもいただき、とても勉強になりました。ただ今回のアカデミーは各班のリーダーにかなり負担のかかるものだったのではないかと思います。
- ・プレゼン…各班どの発表もとても力の入ったもので、聞いていて惹きつけられました。私の班ともう一つの班とで医療介護のテーマが重なりましたが、互いに着眼点が少しずつ違うところが面白く感じました。もう少し自分の班の評価など知りたかったので、各班で感想や評価を紙に書きあうなどでできればと思いました。
- ・準備の段階からリーダーの後藤さんが僕らを引っ張ってくれて、素晴らしいリーダーシップと入念で綿密な下調べに感激しました。
- ・プレゼンでは、重要な政策提言のパートを任せてもらい、非常に達成感のある面白いプレゼンでした。船内での濃密な議論が活きました。
- ・正直自分が満足する出来栄とは言えなかったです。発表内容の細部の方はあやふやのまま発表する形になってしまったからです。自分自身乗船まで忙しく打ち合わせがメールだけになってしまって細かい打ち合わせができませんでした。今度はそこを改善し、より良い発表をしたいです。
- ・僕たちは植物工場をテーマにしていたのでまったくわからないところから議論がはじまったので先入観なくできたのでとても面白かったです。議論する時間が少なかつたですがいいものができたと思います。プレゼンは緊張して全然だめでしたが、ほかのメンバーがしっかりフォローしてくれたので成功しました。
- ・グループ発表では沢山の日本の課題、解決策、政府や当事者の取り組みなどを知ることができました。今回のクルーズでは一番重要な行事で、この行事があることで充実したクルーズになったと思っています。ただもっと早くから完成に近づけていたら余裕をもってイベント事に参加できたかなと思います。これも今後の課題でありどうしたら決められた時間でより充実したクルーズになるのか？これを機会があれば自分が中心となってみんなをまとめて取り組みたいなと思っています。
- ・他大学の諸先輩方と会話することに最初は緊張をしましたが、SNSでの交流や実際に会話して見ると、良い先輩方ばかりで話す内容や考え方に対してとても勉強になりました。このような機会を設けて下さらなければ交流も余り持てなかつただろうと考えると良い経験になりました。
- ・準備段階で、帝塚山大学は鈴木さんが一緒だったけれど女子は一人で不安でした。クルーズに乗ってからは、高橋さんが正式にD班に入っただけのようになり、話しやすくなりました。リーダーの毛利さんはグループをまとめながら、私の意見もその中にいれてくださいました。発表は私を含め、3人で発表しました。発表の練習はあまりする時間がなく、とても緊張しました。
- ・他大学の人達とのグループワークはお金とは換えられない、とても貴重な体験になりました。私には思いつかないようなおもしろいアイデアがたくさん出てきて、驚きました。私はあまり発言できず、聞いているだけという状態も多々あったので、自分はまだまだだなあと

思いました。私が3、4回生になったときには先輩たちのようになれているよう頑張りたいです。

- ・初めて会う人しかおらず初めは緊張していましたが皆さんとても良い人ばかりでスムーズに準備ができたことは感謝の気持ちしかありません。準備段階は皆テーマを決めることに時間をさきました。そしてリーダーをしてくださった4回の方はとても資料も調べてきてくださっていてスムーズに話し合いもすることができました。発表時は、失敗してしまったのですが誰も私も責めず気にしなくて良いといってくれてとても嬉しかったです。
- ・自分の知識の無さがまず痛感しました。また、考え方や政策提言の案などのアイデアが自分が考えたものとの質が違い過ぎてもっと勉強を頑張ろうと思いました。ほとんどリーダーがやってくれていたのも申し訳なかったです。
- ・準備段階で他大学の人たちと交流することができたのでよかった。大阪大学のリーダーの方が積極的に自分のグループを引っ張ってくださり、とても頼もしかった。グループには6人もいて様々な意見が出て、しっかり話し合うことができた。しかし、自分の知識のなさ、力不足を痛感した。発表した際、大きな失敗をすることもなく無事に終えることができたのでよかった。
- ・最初は、初めての人たちと短期間でプレゼンをすることに、不安を感じていたが、早め、早めにグループで、ライン等のソーシャルネットワークを利用して、コミュニケーションをとることができ、交流にもつながって、グループワークがこのようにできて、すごくよかった。船に乗る前に個人がそれぞれに与えられたことを調べてくれたので、スムーズに時間を短縮してプレゼンをつくることができた。





船内サービス・施設の感想

<食事・レストランサービス・café、バー、バーガー、ピザ>

- ・ 食事では、思い出のコース「Star Princess Christening by Audrey Hepburn March 23,1989」があって、美食を楽しんだ。サービスの面につきまして、名前と顔が覚えてもらったので、非常に嬉しかった。
- ・ 食事はどれも美味しくて、どれを選んでもハズレがなかった。デザートは本場のものよりも日本人向けに抑えられている印象だった。ただ、ビュッフェの肉料理(ソーセージなど)はとても脂っこかったため、両親や祖父母など、お年寄りと一緒に乗船する場合は少し配慮が必要だと感じた。アフタヌーンティーのスコーンがプレーンのものがなく、少し残念だった。美味しかったけど。
- ・ 無料で好きな時に好きなだけ食べられるコーナーが多かったこと、お水が無料だったことが嬉しかった。サイズも特に日本人離れした量でもなかったし、夕食も毎日メニューが違ったことに驚いた。
- ・ アルコール以外はフリーで美味しい料理が食べることができました。食事できるところが複数あり、いつも何か食べていました。特にハンバーガーやピザが美味しかったです。またカフェにはチーズやナッツがあり、ちょっとした時間に小腹を満たすことができました。

- ・ クルーさんがイスを引いてくれるなどの振る舞いが、自分がお嬢様になったような気分であれしかった。クルーさんはとてもこやかで楽しそうだし、いつも快く接してくれて、雰囲気がとても好きでした。お部屋も、1日に2回も掃除してくれてびっくり。あと、入国審査が本当にスムーズでびっくりしました。
- ・ 気になったところは、1) 6階ダイニングの朝ご飯はオーダー形式だったが、どれも量が多く、友達と2人で行ったので多く残してしまった。もう少し量を減らしてほしい。2) 夕食のときに、料理ごとにスプーンやフォークを変えてくれるウェ이터さんと、変えずにパン用のお皿に使ったものをよけるウェ이터さんがいて気になった。3) 部屋の掃除をしているところに帰ったときに、私のスーツケースの上に掃除用具を置いて掃除をされていました(笑)。別にいいのだけれど、なんとなくいい気はしませんでした。(ほかのサービスが本当に素晴らしいからこそ)

- ・ レストランの食事が、日本食もありメニューが豊富で、飽きずに毎日美味しく食べることができました。店員さん達が、気さくで楽しい時間を過ごせました。何を食べようか迷っていたら、これがおすすめだよとか、このワインが飲みやすいよなど、声をかけてくれたこと、店員さんの「おもてなし」が心に残っています。



- ・ 食事はどれもおいしく、満足できた。日本語訳もきれいに訳されていて、出される料理がどういった料理かを判断しやすかった。ハンバーガーやピザは焼きたてでとてもおいしく、普段味わえないものを食べられてとてもよかった。アフタヌーンティーも本当においしく、優雅に時間を過ごせた
- ・ 6階のレジエンス＝ダイニングでの夕食は今まで食べてきた食事の中で最も豪華でおいしかったと思います。特にメインティッシュの肉料理はボニユームがあって、よく食べる私でも驚きました。また、ショッピングモールのフードコートぐらいのクオリティだと思っていたハンバーガーやピザ、アイスも本場の味を楽しむことができました。アフタヌーンティーもクオリティの高いスイーツを食べられて満足しました。
- ・ 食事はすべてにおいて、はずれがなかった。夕食が完全なコース制ではなく選択できるのは嬉しかった。アフタヌーンティーやラウンジでのスイーツタイムは優雅な気分浸れて心地よかった。
- ・ ピザやステーキを今回は食べられなかったが、次の機会に今度は自分で稼ぐようになったらぜひ試したいと思う。
- ・ レストランの多彩さには本当に満足しています。今回、クルーズを知人や家族に一番伝えたいのは食事です。ティナーを初め、アフタヌーンティーなどの慣習を体験させて頂いた事もいい思い出です。また、勉強で疲れている際にも24時間カフェが開いていたおかげで、色々食べてしまい、結果的に太りました。バーのお酒も美味しかったです。そして、レストランなどのサービスを提供して下さる船員さんたちは本当に愉快で終始飽きる事はありません

せんでした。

- ・ レストランでの食事はとても満足です。料理がとてもおいしかった印象です。カフェでのケーキ、ハンバーガー、上の階のバイキング、どれも本当によかったです。
- ・ レストランはいつでも開いていて、好きな時に、好きなものが食べられるので、何一つ不自由がなかった。食事はどれも美味しかった。細かい感想を言うと、海外仕様の味付けやサイズ感だったということだ。味付けは日本で食べる食事のほうが繊細。サイズ感は、普通のアイスコーヒーのレギュラーを頼んだ時に、日本ならどう見てもラージサイズで、しかも生クリームが山盛りになって出てきたときはさすがに驚いた。

- ・ レストランでの食事は、普段ではあまり食べられない料理を毎日食べることができ、幸せでした。また、ウェイターさんたちも楽しい人たちがばかりで、おかげで食事がより楽しくなりました。最初のティナーでは、「飲み物どうする？」と聞かれ、それが有料のお水だと知らずに頼ってしまったのは、いい勉強になりました。この経験は次にも活かそうです。



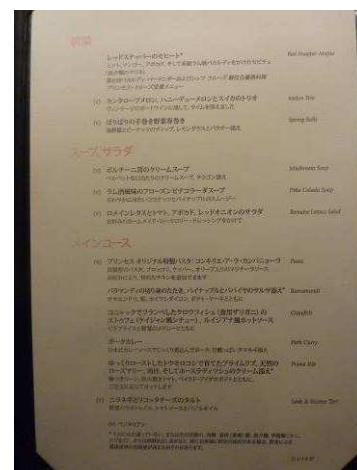
- ・ ティナーがとにかくどれもおいしくてボリューム満点だった！前菜からデザートまでのフルコースで、毎日メニューが変わるので、選ぶのも楽しみのひとつ。胃袋がもっと大きければいいのにと何度思ったか……。ウェイターの方たちは皆さん楽しそうにお食事を運んでくださるので、こちらもとても楽しい気分になれた。初日には、タップウォーターを知らず、3ドルで水を買ってしまったけれど、勉強になったと思えば安いもの。朝ご飯は2回しか食べられなかったけれど、ピュッフェ形式で和から洋までなんでもそろっているの、そのときの気分に合わせて食べるものを選ぶのがよかった。ベッドから起き上がるのに一苦労だった日には、前日にルームサービスを頼んでおけばよかったなと思った。バーガーやピザやアイスクリームバーは、もっともっと堪能したかったけど、おなかに隙間が残ってなくて、あまり食べられなかったのが後悔。アフタヌーンティーの文化は素敵だなと思った。暖かい紅茶を飲みながら、サンドウィッチやスコーンなどをいただきつつ、会話に花を咲かせる。親睦を深める機会といえば、日本では夜に行われる飲み会などが思い浮かぶと思うけれど、お昼過ぎのゆったりとした時間にアフタヌーンティーをしながらの親睦会も、さわやかで素敵だなと思った。ぜひ来年、後輩との親睦を深めるのに使ってみたい。

- ・ 一つ悔しかったというか、自分の知識不足を恨んだのは初日のティナー時に、ウェイターがやってきてしつこくドリンクを勧めてきたので、水を注文しわけもわからずサインをしてしまい水を有料で購入する事になってしまったことです。しかし、料理自体は



毎日バラエティーにとんだ普段は食べられないような料理ばかりで満足しました。

- ・ 食事はどれも全て美味しいの一言につきます。ただ、フロアによっては無料で提供できるドリンクと出来ないドリンクがあり、その度に無料ですかと尋ねることが億劫だったので統一して欲しいなと思いました。レストランのスタッフの接客態度は話すとニコニコしてくれるので楽しく食事を行うことができました。
- ・ 船内のサービスは満足のいくものでした。クルーも陽気な方が多く、英語が苦手な人でも対応できると感じました。また、毎日の夕食や、無料で食べられる食べ物の全てがおいしく、日本人の口にも合うと感じました。
- ・ 食事はどれもおいしいと感じました。レストランサービスはその従業員の方によってまちまちだと感じました。レストランでもカフェでも前回の時よりも、乗客たちにお金を使わせようとしている様子が、乗組員の方たちから伝わってくるが多かったです。そのため、少し居心地悪い思いをすることもありました。日本人客に向けた日本語表記の掲示物などが多かったとも思います。
- ・ 一日目の夕食のトマトパスタが酸っぱくて大変だった。その中に入っていた緑色の実も私には臭くて無理だった。ピザレストランのピザにも入っていた。そういう食文化なのだろうか。しかし、それ以外の料理はどれもおいしくて、スイーツも甘すぎたり重すぎたりせずまだまだ食べたくなるものばかりだった。夕食は量もちょうどよく、次の日の朝も、朝からガッツリ食べられた。以前乗った船は、オレンジジュースが時間とともに分離していたが、今回はそれもなくておいしかった。箸がちゃんと箸だった。
- ・ 食事はとてもおいしかったと思います。どの施設でもボーイジャーよりも優れていると感じました。朝食でのバイキングでは、箸がきちんと食べやすい形であったことと、メニューがどれもおいしく飽きにくかったことと、多くの種類のヨーグルトが用意されていたことと印象に残っています。
- ・ ティナーはどのメニューを頼んでもあまり失敗はなかったかと思っています。また、ティナーのメニューには日本人に合わせたものもあり、気遣いを感じました。ただ、下船前日のコース料理に出てきたシャンペンソルベのアルコールがかなり強かったので、もう少し配慮してほしいと思いました。
- ・ その他の食事施設について…注文を受けて生地からピザを作って無料で提供してくれるサービスがとても素晴らしいと思いました。ただ、メニューには商品名のみ書かれていたので、何が入っているかなどのもう少し詳しい内容が書かれているとスムーズに注文できると思いました。また、5階のカフェではボーイジャー同様ケーキやパンを自由に食べることができたのですが、飲み物を自由に手に入れることができないことが少しストレスに感じました。
- ・ 一般的に明るく、丁寧な対応でサービスしていただきました。
- ・ 部屋の掃除も1日2回きれいにしてくださり、気持ちよく過ごせました。



- ・ レストランなどでは、好きなようにオーダーを組ませてもらいながら食事できたので有難かったです。
- ・ 船内の食事はお金を払わなくても充分においしい食事ができました。日本人の味覚に合い、とてもおいしかったです。お酒も種類が多く、毎日食事に飽きることがなかったです。
- ・ アメリカの船ということで食事にはフォークとナイフを使っていたので少し食べずらかったです。しかし、毎日使っていると徐々に慣れ、最終日には違和感なく食事ができました。レストランでは注文してからすぐに料理を持ってきてくれたのでとてもよかったです。バーでは会話しているときに話の腰を折らないように自然に声をかけて、飲み物を持ってくれたりとその気遣いにも感動しました。
- ・ まず対応がよかったなと思います。英語が苦手なので少し困った部分もあったのですが、日本語で対応してくれたり、わかりやすくゆっくりしゃべってくれたり。自分の苦手を除いたら不自由なく過ごせました。
- ・ 5日間で全てを食べようと思ってしまい、規定の1日3食を超える5食を食べてしまうこともある程、船内サービスは充実していました。また、普段コース料理を食べる機会は殆どなく、口に運んだ時はその美味しさに驚きました。サービスも日本と比べると異なっていたので、最初の内は慣れることが出来ませんでした。悲しかったのは、アメリカの法律に乗っ取って、21歳からしか飲むことが出来なかったことです。
- ・ みんなで食べた6階にあるレストランでは、笑顔で料理提供をしてくださったので、すごく気持ちよかったです。Caféでは、飲み物は有料だったけど、ケーキは無料で食べれたのが嬉しかったです。バーでは、全員が集まった時しか行かなかったけれど、ジュースはおいしかったです。船内は、一応アメリカの法律らしいので、21歳未満は飲めないそうです。でも、最後は1杯だけ飲めたので良かったです。ピザは、注文するとガラス越しに作っているところが見え、カメラを向けると生地を回してくれたり、ポーズをとってくれたりおもしろかったです。
- ・ 最初に料金は払ってありますが、食事は基本的には無料であり、お金を払わなくてもよいので楽しむことができました。クルーの人達は皆笑顔で接してくれてとてもよかったです。ピザは生地から作ってくれたので少し時間はかかりましたが、おいしかったです。カフェではケーキの種類が豊富であり、タルトなどを食べました。レストランでは普段食べられないものを食べることができ、楽しむことができました。
- ・ 食事はとてもおいしく、種類も豊富で私は4泊5日でしたが一か月滞在していても、楽しくおいしく食事ができるのではないかと思うほどでした。特に夜ご飯が豪勢でこのクオリティーのものが船の中で食べられるのかと驚くような味でした。カフェのケーキは8種類ほどあり、私はタルトをいただきましたがとても甘くフルーツも新鮮でおいしかったです。
- ・ ウェイトレスと目があったり、前をとったりしたら必ず、挨拶してくれるし 愛想がとても



よかったと思う。入口でお迎えもしてくれるし、椅子もひいてくれたのでサービス精神は結構あったと思う。でも水をグラスに入れるとき雑なウェイトレスがいたのでそれはどうかなと思った。

- ・ 今回乗船してピザは食べることができたが、バーガーを食べていなかったのが非常に心残りである。レストランの係の人は常にお水や食器の片づけなど気を配っており快適な時間を送ることができた。また、愉快的な係の人もいらっやっして楽しく食事ができた。Caféやバーの係の人たちも気配りをしっかりされていてすごいと感じた。
- ・ サービスにもとても満足していて、特に食事は十分、量があり楽しむことができた。また、午後にはアフタヌーンティーをすることができ、日ごろにはできないような経験をすることができた。パンもケーキもコンパクトなサイズで食べやすかった。飲み物もたくさん飲んで最高だった。夜は部屋でも食事ができるように、ルームサービスが充実していたのでより一層船内での生活を楽しめた。

<スポーツActivity・体験型イベント(ビンゴ、オークション、バルーンドロップ、ダンス)など>

- ・ 三つの単語で纏めると、「学習」、「行楽」、「健康」だった。
- ・ バルーンドロップのときのダンスは乗客全員が一体となって楽しめる雰囲気がありました。風船が落ちてくるだけだと思っていたので、あんなに楽しいイベントだとは予想していませんでした。風船が降ってきてからもダンスの時間が続いたので、休憩してからまた参加するというように長く楽しむことができました。
- ・ バasketを皆と一緒に何回もやりました、夜中の12時からとか、朝でスポーツ大会とかで、色んなグループの人々とスポーツで仲良くなれて良かった。チームでスポーツをすることにより、人々の交流の促進、また健康な生き方にも繋がると思う。
- ・ スポーツジムが充実していて、入りやすい雰囲気だったので、5日間の中で何度か利用した。海を見ながら、たまにテレビの映像を見ながら、たまに音楽を聴きながら、運動をしてとても良いリフレッシュになった。ジャグジーは結局利用しなかったが、ジムだけで十分楽しめた。ビンゴやカジノはオプションだったので利用しなかったが、バルーンドロップとダンスはとても楽しかった。サンプリンセスでもこんな陽気なアクティビティがあったのかと感じた。バーでおこなわれていたダンスにも参加したが、少し年代が古い印象だった。
- ・ ダンスやバルーンドロップでは、見ず知らずの乗船客とも交流ができ、一体感を感じることが出来たのが嬉しかった。
- ・ バasketコートや卓球台、ボードゲームが出来る部屋があり、友達と楽しむことができました。また最後の夜はプレゼンが終わっていたこともあり、ティスコで目一杯踊りました。バルーンドロップの際のダンスは乗客全員で楽しめる雰囲気があった楽しかったです。
- ・ バルーンドロップとそのときのダンスがとっっても楽しかった。普段あんまり踊ったりしない



性格だけれど、バルーンドロップのときは楽しそうすぎて私も踊りたくなくて、みなさんに混ぜてもらいました。アートオークションの担当のクルーさんたちは、学生を相手にしていない感じが伝わって少し腹が立った。(私たち参加できないのは当たり前なのですが…)

- ・ 船ではあまり体を動かさないと考えていたので、卓球・バスケを全力でできたことはとても楽しかったです。むしろ、普段より動いていたかもしれません。ダンスは、やったことがあまりなかったのですが、割と簡単な振り付けだったので踊りやすく、他のお客さんと一体となって踊るのが楽しかったです。バルーンイベントは、あんな上から風船が落ちてきて、綺麗だなあと考えている間に、皆が風船を割り始めてあつけにとられました。
- ・ スポーツコートではバスケットボールの対抗戦をしてとても楽しかったし、班のつながりが深くなった。卓球もみんなでやって楽しかった。ダンスイベントはみんな汗だくになって踊っていて見ているほうも面白かったし、参加していてもとても楽しかった。バルーンドロップやシャンパンタワーのようなイベントは普段見ることもないので、貴重な体験になったと思う。
- ・ シャンパンのイベントはグラスがかなり高く積み上げられていて、結婚式のイベントを髣髴させました。シャンパンが乗客全員に振る舞われて、グラスにシャンパンを注げなかった乗客へのおもてなしが配慮されていたのはよかったですと思います。また、バルーンドロップはクルーと乗客が一体となって楽しめるイベントになっていて、大型テーマパークのショーを思い出しました。
- ・ ダンスは苦手だった(というかやる機会をさけてきた)が、今回、バルーンドロップの際にせつかくの機会だと思って参加してみたところとても楽しく爽快だった。いつもと違うこともできてしまうのもクルーズが与えてくれる非日常感のおかげかもしれない。とにかく楽しかった!
- ・ 色々な選択肢が用意されており、大変満足しました。私たちのように、大勢の人数で参加して楽しむアクティビティもあれば、他のお客様のように少人数での参加でもダンスなど参加して全体として盛り上がることのできるチャンスがある点は素晴らしいと思います。次回、社会人として乗船した際にはぜひお金をかけてこれらのサービスを満喫したいと思います。
- ・ 卓球、バスケ、プール、ジャグジー、船の上でこれらができるのはこの客船の規模の大きさを表しているからだなと思いました。船上での娯楽は尽きることなく、私たちを常に楽しませてくれました。最後のバルーンドロップのときのダンスはみんなが笑顔で踊っていて、乗客のクルーズへの満足度が現れているかのように感じました。
- ・ 船内サービスは、まさしく非日常を味わうことができた。本場のアフタヌーンティー、実際には参加できなかったがダーツ競技会など日本には体験できない企画がたくさんあったので面白かった。
- ・ 最後の夜の、バルーンドロップは船内にいるかをも名前も知らない人同士が、一体となって楽しむことができ、最高の思い出となった。
- ・ 最後の夜のバルーンドロップは、本当に楽しかったです。



- ・ みんなで汗だくになりながら踊ったり、写真を撮ったり、なにもかも忘れて楽しむことができたと思います。非現実な生活が、この日で終わってしまうのか、と思うと、さみしい気持ちにもなりました。



- ・ 図書室にボードゲームがあつて、それでみんなで盛り上がった。船上のスクリーンで映画もみれて、夜空と合わさってとてもきれいだった。普段いけないようなテイスコでも、船の上でみんなで旅行しているから行けるんだと思った。みんなで踊って盛り上がれてとても楽しかった。

- ・ また、グループのみんなと、バスケットをしたりして一緒に楽しめたことは、とてもいい思い出になりました。
- ・ 水着を持っていったけど、出番が1度しかなかったのが残念。私が入った日はプールに入るには少し肌寒く、ジャグジーがちょうど良かった。釜山の日が1番のプール日和だったと思う。プールサイドで出会った小学生の女の子2人とは22日のバルーンドロップでも再会し、一緒にダンスに参加した。あんなに小さい頃から豪華客船に乗る機会があつてとてもうらやましい。テイスコにもいきたかった。船内のアクティビティをすべて楽しむには、時間とタフさが必要だと感じた。
- ・ 施設の中では卓球とプールが印象に残っています。他大学の人たちはもちろんなのですが、同じゼミの仲間でもあまり一緒に運動する機会がないのでとても新鮮でした。バルーンドロップ後のダンスはみんなの気持ちが一つになっているようなきがして、初対面の人たち同士でもダンスを楽しめました。
- ・ こちらもあまり体験出来ていないのですが、最終日のバルーンドロップは本当に楽しかったです。知らない人や友人たちとダンスを通してその時間を楽しむとい演出は本当に最高でした。船内でのライブもゆっくりしたい時に最適でした。最後に図書館の空間もさることながら、ボードゲームの設置も楽しくみんなで出来たので最高でした。スポーツが楽しめるスペースについてはもう少し広くてもよいのではないかと感じました。また、参加はしていませんが、船内で知り合った小学生がビンゴについて楽しそうに語っている姿が印象的でした。

- ・ 印象的なのは、シャンパンタワーです。初めて生で見たので、非常にダイナミックかつ素晴らしく、おいしいシャンパンもたくさん飲んで最高でした。
- ・ たくさんイベントがあつたのですが、みんなとホールで踊ったのが一番楽しかったです。ホールにいたお客さんみんなが参加できるように工夫されているところがいいなと思いました。曲のチョイスもよかったです



とおもいます。

- ・ プレゼンの班ごとに分かれてワークをしていて、ある程度区切りがついたときに、近くで同様にワークをしていた班の子達と、空いた時間を使ってバスケットボールをしに行ったのがとても楽しかったです。ビンゴやオークションには参加できませんでしたが、プレゼンの発表も終わり食事の後に仲良くなったみんなでバルーンドロップやダンスに参加できたのが本当に楽しかったです。
- ・ バルーンドロップは綺麗で楽しかった。みんな割ることに驚いたけど、終わったあと綺麗に掃除されていてさすがだなと思った。エレベーターの筒の中に少し残っていたけど。ダンスパーティーはシャイな日本人は参加しないのかなとつい思ってしまったが、今回の船の旅でそれまで遭遇したこともないくらいの人が集まって踊っていたことには驚いた。
- ・ ビンゴやオークションは参加していませんが、オークションの様子を少し見ることができ、貴重な体験ができました。バルーンドロップやダンスは楽しむことができました。ダンスがなかなか長くて体力的にしんどかったので、もう少し短くてもいいのではと思いました。
- ・ 印象的なのは、下船前最後の夜のバルーンドロップとダンスパーティーです。友達よりも、テンションが上がり、汗をかきながらノリノリで踊りました。最後まで踊り通せたことは、すごく素敵な思い出です。
- ・ バルーンドロップは、準備に追われほとんど参加することができませんでした。しかし話を聞いていると、すごく楽しかったという意見しか返ってこなかったです。最後にダンスを少しだけ見ることができたのですが、日本では味わえない雰囲気が出たらよかったと悔やんでいたのを思い出します。
- ・ 最終日のバルーンドロップのバルーンは割れやすくてびっくりしました。ダンスも振付が簡単で、有名な洋楽から邦楽まであって、ノリノリで楽しめました。
- ・ イベント事は参加できていない事もありましたが、参加したものは全て楽しめました。中でも印象が強いものは最後のダンスでした。限られた場所であれほどの人数で踊ったのははじめてでした。
- ・ 知らないおじさんからビンゴカードを貰って参加しましたが、会場ではノリが日本とは異なっており、素直に態度に出すので、理解していても実際に目にすると文化の違いに戸惑いました。
- ・ 最終日にホールでダンスをしましたが、当初2・3曲で終わりにしようと思っていたのに、翌



日に下船するという名残惜しさもあってか続けて踊ってしまい、疲労感と開放感を同時に味わいました。

- ・ 私は、バスケットボール、卓球、ダンス、バルーンドロップに参加しました。バスケットボールは、ゴールが1つしかなくて体育館ですのようなことはできなかつたけれど楽しむことができました。

卓球は、卓球台が2台あり、私たちが使っていたときは混むことなく、スムーズにできました。ビンゴは通りかかったおっちゃんにカードをいただいたので参加しました。ダンスは、ロビーのところでみんなで踊ったのがとても楽しかったです。バルーンドロップも盛り上がり、良かったです。

- ・ バルーンドロップ、ダンスは発表が終わったということもあり、一番楽しかったです。音楽に合わせて踊ることはこんなに楽しいんだなあと思いました。天井にはたくさんの風船があり、ダンサーの人達もとても楽しそうに踊っていて、私もとても楽しかったです。
- ・ スポーツは、バスケットコートがありバスケットを班の人と一緒にしました。船内でバスケットコートがあることに驚きました。4日目にはバルーンドロップがあり風船が天井から降ってきました。そしてその風船をみんなで割りましたこのような経験を今までしたことがなかったので、私はこのイベントが一番楽しかったです。ダンスもスリラーなどの曲が流れて従業員の方にダンスを教えてもらいながら踊り、どこかテーマパークにでも行っているような気持ちになりました。
- ・ ジムやプールやスパがあり充実していたと思う。プールは温水でこの季節でも入れるようにしてくれていたのはありがたかったです。でも、もう少し遊ぶところがほしかったなあと思いました。あと免税店をもっと増やしてほしいです。
- ・ ビンゴやオークションには参加していないが、バルーンドロップやダンスに参加したが本当に楽しかった。知らない人たちと同じ空間で楽しい時間を一緒に過ごせて幸せだった。ダンスの曲は有名な曲でダンスも踊りやすく、友達と楽しい時間を過ごせた。普段体験できないようなことが体験できて、本当に貴重な体験だった。オークションがどのような感じで行われているか一度見てみたかった。
- ・ ダンスパーティーに参加し、自分は初めてダンスをしたが、みんなハイテンションで、賑やかでとても楽しく踊れた。ダンスの楽しさを実感することができて、とてもよかった。大勢で踊ることがこんなに楽しいものであるとは思わなかった。バルーンドロップはとても綺麗だった。次回はオークションを見てみたり、ビンゴにも参加したりしてみたい。



<SHOW,エンターテイメント>



- ・ ショーは每晚タイミングが合わず、結局フォーマルナイトの1度しか見られなかった。ショーは少し規模が小さいと感じたがとても楽しめた。通訳もしっかりしていた。フォーマルナイトでのシャンパンタワーは、ちょっとやってみたい気持ちもあったが、たくさん人が並んでいて断念した。残念。
- ・ SHOWはとても楽しくてワクワクしました。

ダンスのキレはいまいちなあとと思った。歌は上手で聞き入りました。毎晩ピアノのところで演奏している音楽が本当にすてきで、聞こえてくるたびハッピーな気持ちになりました。

- ・ SHOWは同じものをローテーションするのかと思っていたら、毎日違うSHOWが行われていて、毎晩楽しみました。1日目、私は、船酔いで体調があまりよくなかったのですが、SHOWのノリのいい音楽を聴いていると体調が少し回復しました。

- ・ 時間がなくてSHOWやエンターテイメントを十分に楽しむことができませんでした。ただ、帝塚山大学の学生がクルーにスカウトされてSHOWに出演したことは驚きました。クルーズ船内でのSHOWは格式が高いものだと思っていたのですが、乗客にとって身近なものだと感じました。

- ・ すべて生演奏でのショーだとは思わず驚いた。無料のショーだし安っぽい演出・内容かと思いきや本格的なショーだったのでかなり満足だった。

- ・ 今回、ショーを観る事ができなかったことは大変、惜しい事をしたなと思っています。しかし、写真の撮影や船長主催のシャンパンタワーなどあらゆる面白さが船内にあった為、満足しています。



- ・ クルーズ3日目のSHOWは純粹におもしろかったです。私はこういったミュージカルやSHOWは見たことがなかったのであまりうまく伝えることはできませんし、どこを見て楽しめばいいのかなどは全く知りませんが、ぼーっと見ているだけでも面白さを感じました。

- ・ 時間の都合で、SHOWは1度しか見るができなかったのだが、3日目の夕方のパフォーマンスには圧倒された。SHOWに出演していた俳優がその後、料理を運んでいたりして、この船に乗るキャビンは何でもできるスペシャリストたちなのだなと感じた。

- ・ エンターテイメントという点では、船内にいる客は、飽きることなく過ごせていたと思う。ジャズやピアノの演奏、誕生日にサプライズ企画など、今考えてみると、常に私たちを楽しませる工夫を凝らしてくれていたのだと思う。"

- ・ フォーマルナイトの夜に見たショーは、歌もダンスもキレキレで、くぎづけになりました。プロの方たちのショーが間近で見れて感動しました。なによりダンサーの方たちが、終始笑顔でショーをされていて、こちらも自然と笑顔になりました。

- ・ SHOWをみたときに感じたのは、観客の日本人らしさだ。演者に手拍子を求められるまで体を揺らすこともなく、じっと見ている様子に日本人の謙虚さ、おとなしさが垣間見えた。きっとアメリカ人などは音楽に合わせてもっと体を揺らして楽しんでいるそぶりを見せるだろう。生でみるSHOWなのだから、観客の反応が演者にダイレクトに伝わり、それが演者のパワーにもなると思う。日本人にとってはある意味勇気のいるエンターテインメントだったのではないかと思う。開演前に、手拍子や反応を促すような一言があれば、覚悟ができてもっと楽しめたかもしれないと思う。したかったことといえば、星空の下で映画を観ること。

- ・ フォーマルナイトの日に見たショーは、華やかな音楽、華やかな衣装、華やかな歌声の三拍子で自分が異空間にいるのかのような気持ちになりました。乗船前からこのようなショーに興味があったのですが、なかなか機会に恵まれなかったので、クルーズを楽しみながらショーもみることができて一石二鳥の旅でした。

- ・ あまり時間がなく見ることが出来なかったのですが、三日目に見たshowは圧巻でした。見る人の心を奪うダンス、そして有名アーティストの曲もかかったりしたので思わず体が動いてしまいました。それぐらい完成度の高いものだったのでもう一度見たいです。



- ・ 今回はセミナーの関係もあり、全てのエンターテインメントを見れたわけではないのですが、見たものは全て満足のいくものでした。特に最後の夜のバルーンドロップやダンスでは、他の乗客の方とも楽しむことができ最高でした。知り合いだけでなく、周りにいる全ての方と時間を共有できている気がして、居心地が良かったです。
- ・ SHOWタイムを楽しむには、他のスケジュールが詰まっているように感じる時がありました。SHOWタイムで使われている音楽は、有名なものが多かったのですが、私たちよりも少し前の世代の人たちが楽しむのに良いのではないかと思います。
- ・ 1日目のショーの生演奏はよかった。が、ショーのストーリーがいまいちわからなかった。演者もあまり楽しそうな感じがなかった。マジックショーは見られなくて残念だった。
- ・ ショーやパーティはやはりボイジャーの方が華やかで、若い人はそちらの方が好きなのではないかなと思いました。英国風の船ということで、フォーマルナイトの日のショーはイギリスをテーマにしているそれはとても素敵だと思いました。前回のような大きな道でのパレードがなかったので少しさみしく感じる部分もありましたが、落ち着いてカフェなどで夜を過ごしたい人にはちょうど良いと思いました。フォーマルナイトの日は、寄港地に停まる日だとせわしくなってしまうので、終日航海日の方が適しているのではないかと思います。
- ・ プレゼンの準備で全部は堪能できてないんですが、素晴らしいものばかりでした。久しぶりに見るショーでは気が付けば子供の様に喜んでしまっていました。まさか自分がキャストになるとは予想してなかったですが。
- ・ 残念ながらSHOWは発表の準備などで一回も見れませんでした。しかし、船内で一般のお客さんと話した際に素晴らしいとおっしゃっていたので悔しいです。
- ・ マジックショーなどお客を楽しませる要素がいっぱいでした。僕自身もショーに出させていただきましたが、これもまた対応がよく本番では困ることなくやり遂げることができました。そして皆さんのおかげで笑いをとることもできたのでよかったです。
- ・ マレフィセントを見ようと思っていましたが、他の予定と被ってしまい、結局見る事が出来ず、悔しい思いをしました。時間帯的に映画のフィナーレだけ見てしまいそうになり、ヒヤヒヤしました。
- ・ 21時45分から上映だったマレフィセントを見ようと思っていましたが、夕食を食べた後体験

型イベントのダンスやバルーンドロップがあったので見れませんでした。12階のプール周辺でも上映していたので最後をみてしまいそうで危なかったです。ピアノは弾き語りしていたり、ジャズはすごかったです。また、聴きたいです。

- ・ 毎日船内新聞が届き、たくさんのショーやイベントがありすごいなと思いました。マジックやピアノの演奏など、少ししか見ることができませんでしたが、楽しむことができました。22日までは夜に班での話し合いやパワーポイントの作成などでショーはあまり見ることはできなかったのが残念です。
- ・ showは残念ながら見る時間があまりなく見ることができませんでしたが、次回乗る機会がもしあるならばぜひ見てみたいです。Showを見た友人の話では芝居を観たそうなのですが、とても面白かったといっていました。
- ・ 今回、ブリティッシュ・インベーションというSHOWをみたが、ダンス、歌声などとても魅力的だった。自分は本格的なSHOWをみるのは今回が初めてでステージに近い席でみることができ、とても印象に残っている。また、SHOWはただみるだけでなく手拍子などお客と一体となって楽しめるところもよかった。今回自分がSHOWをみた際、たくさんの空席があったがもし満席であれば今回とはちょっと違った雰囲気(盛り上がりなど)を味わえたのではないかと感じた。
- ・ ブリティッシュ・インベーションを鑑賞した。日頃ショーを観ることはないのですが、どんなものなか、興味深かった。とても出演者の熱気が伝わってきたし、楽しんでもらいたいという気持ちですごくわかった。時間がたつのがあつという間で、もっと観ていたい気持ちになった。日本ではみられない、貴重なショーを見れて良かった。ダンサーも長い時間かけて練習していると思うが、私達乗客を楽しませてくれて、感謝したい。



<キャビンサービス、その他船内各部門オペレーション(ホテルオペレーションなど)>

- ・ レストランで食事をする時に、時期により、サービスのレベルは違うと少し感じた。恐らく、忙しい時期で手が回らない可能性もあると理解はできる。
- ・ 一度シーパスカードを紛失してしまったが、紛失に気づいてすぐに受付に行くと、既に届いており、係の方もとても親切に対応してくださった。ありがとう、あれがなかったら釜山で降りられなかった。
- ・ ロビーの日本人対応者が少ないように感じた。しかし客室係や各施設のクルーは日本語もでき、食事の時には、困ったときにお勧めを聞くときちゃんと答えてくれるのが有難かった。
- ・ スタッフの方がいつも笑顔で明るく対応してくれたので、とても快適でした。部屋はいつも清潔に保たれていました。会話は基本的に英語ですが、困ったときは日本人スタッフの方に対応してもらうこともできるので安心できると思いました。
- ・ 友達が誕生日だったのですが、誕生日の日に、その子の部屋の前に、congratulation!と書かれた風船が掛けられていて、サン・プリンセスのおもてなしを感じました。
- ・ ロイヤルカリビアン船に乗った時に比べ、日本人スタッフや日本語を話せるスタッフが多

く、わからないことがあっても気軽に聞けて良かった。客室は内側に部屋でもスペースが広くて過ごしやすかったが、部屋のシャワールームの水が流れにくかったり、荷物置き用のマットが無造作にベッドの上に置いてあったりと少し不満に思う点もあった。(これは、ベッドが汚れないための配慮ですね。Byコーティネイター) スタッフは明るい人が多くてよかった。

- ・ クルーのほとんどが日本語を十分に話せない外国人でしたが、私の拙い英語でも、言おうとしていることをしっかりと理解して、適切な対応をしてくれて感動しました。いつもこやかで、こちらの拙い英語にも丁寧に耳を傾けて対応してくれていたのが好印象だった。
- ・ 木島社長がクルーも大切に仰っていたが、きっとクルーたちもそのことを理解しているから良い接客態度が生まれるのかもしれないと感じた。
- ・ 私たちの担当ホテルオペレーションであったベンジャミンのおかげで、今回のクルーズ中、室内では気持ちよく過ごす事が出来ました。あいさつなどのマナーが非常によかったです。また、室内で紛失したと伝えると、その後に探したものをベッドの上においてくれており大変助かりました。
- ・ ホテルオペレーションなどについて、部屋に戻るといつも綺麗になっていて、快適に過ごすことができました。また、フロントのスタッフの対応もよく、落し物についても戻ってきましたし、チップは学生の身には少し高いと感じましたが、その分のサービスは受けれたかなと感じているので、心地よく出せました。
- ・ キャビンサービスは自分の英会話の能力が欠けていたせいで、うまくコミュニケーションが取れず苦労したところもあったが、毎日布団やタオルを変えてくれたりしたので、快適に過ごすことができた。私の責任もあるが、会話がうまくいかなかった時に少し乱暴な言い方になったり、細かな動作(飲み物の入れ方etc)などでも少し丁寧さを欠いた面もあった気がした。日本人が丁寧すぎるのかもしれない。
- ・ 毎日、私たちの散らかった部屋を、綺麗に掃除してくれたクルーの方に感謝です。
- ・ 部屋の掃除が、朝晩と2回もあることに驚きました。
- ・ 廊下を歩いているときも、見かけたら気さくに挨拶をしてくれて、うれしかったですし、とても居心地がよかったです。
- ・ 船の上で働いておられたのはほとんどが日本以外の国籍を持つ人たちだったけれど、日本語で挨拶をしてくれたりしてフレンドリーな印象を受けた。ただ、基本は英語での会話になるので、パッセージャーサービスカウンターなどで自分の言いたいことが伝えられなかったときには歯がゆかった。もっと話せる英語を勉強しなければいけないなと思った。
- ・ 一日に何度かあったベッドメイキングが丁寧で感動しました。また、同室の先輩が感謝のメ



メッセージを書き置きした次の日には、メッセージとともにタオルでつくったかわいい動物が添えられていて大変あたたかい気持ちになりました。完璧な掃除も大切ですが、やはり思いやりの気持ちがあると特にありがたみを感じました。

- ・ 常に清潔に保って頂きました。ハサミを借りたい時も嫌な顔一つせずかしてくれるので非常に嬉しかったです。また英語で話せない場面も恥ずかしながらあったのですが日本語を話せるスタッフの方もいて非常に心強かったですし、安心もしました。
- ・ 部屋の清掃やベッドメイキングはホテルのそれと変わらないほど良いものでしたし、カウンターの方々も対応がよく、また、日本語が通じるところが一番助かりました。
- ・ 受付では、いつ見ても日本語を喋れるスタッフの方がいたので、あまり英語を話す必要がないまま5日間を過ごせました。前回よりもフランクに接してくれる乗組員の方は少なかったように感じましたが、ルームサービスは丁寧に行われていると感じました。
- ・ 片言でも日本語で聞いてくるクルーが多くて安心感があった。しかし、日本語で聞き返すと途端に話せなくなるころは、仕方ないにしても、こちらも大変で、それならば最初から英語でいいのにと思った。
- ・ 韓国の夜、タオルで作ったゾウが部屋にいた。しかし、それを作ったときのテープがそばに忘れてあった。ゾウと一緒においておいたのに、降りる日まで一緒に残っていた。
- ・ 船内のクルーが日本語を少し話すことができることに驚きました。フロントのスタッフに日本人がいてくれたことにもとても安心しました。日本人にとって旅行の障壁は言語だと思うので、スタッフに日本語を話せる人や親身になってくれる人がいるかどうか大事なのではないかと思いました。
- ・ ルームサービスや、パッサージャーテスク、ロータススパのスタッフさん。皆さんとても温かみがあり、親切にしてくださいました。スパの各日限定の割引特典も有難かったです。
- ・ ほとんどかたことの英語でも丁寧に相手していただき日本にも負けないうちもてなしをしていただきました。彼らのおかげで楽しいクルーズ生活を送れたと言っても過言ではありません。
- ・ 初日、テレビの調子が悪くて視聴できなかった時も20分くらい修理していただき、視聴できるようになりました。また夜中にルームサービスでワインの栓抜きをしていただいたり、食事を運んでもらったりしたときも笑顔で対応してくれたのでとても快適に過ごせました。また日本人スタッフ以外の方も日本語を話せる人がいて対応してくれたり、サービスの質の高さに驚きました。
- ・ ホテルオペレーションでは英語が使えないと大変だなと思いました。日本人のクルーもいましたが毎回回るわけではないので、英語をもっと勉強しようかなと思います。そうすることで今後同じような場で困ることなく楽しめるかなと思いました。
- ・ 外国人スタッフが多い中、日本人スタッフも何人か各部門オペレーションにいたので、言語対応が出来てホッとしました。しかし、外国人スタッフしかいない時も

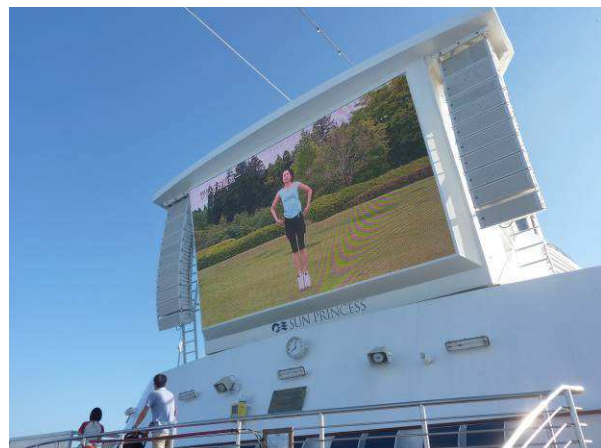


ありましたが、それはそれで苦手だと思っていた会話が楽しく感じられたので、良い経験になったと思います。

- ・ 日本人の乗組員さんもいましたが、外国人の乗組員さんが多くわからないことを聞いて理解するのが大変でした。でも、ちゃんと理解するまで伝えようとしてくれていることが嬉しかったです。写真を撮っているときはナプキンでリボンを作ってくれるなどサービスがとてもよかったです。ハンバーガーは、4人で食べるのに4等分してもらったりできることが良かったです。
- ・ クルーの人達は毎日ベッドメイキングや食事の際のサービスを笑顔でしてくれ、とてもよかったです。レストランのサービスでは毎回椅子を引いてくれたり、写真を撮ってくれたり、サービスが充実していました。
- ・ 乗組員の方々はみなさん笑顔で楽しそうに仕事をされていて働く環境がいいんだなと感じました。また日本語を話せる方もいて日本人のお客が英語を話せなくても困らないように配慮もなっていました。そして食事の時などは、おいしいですか？などと声をかけてくださったり挨拶をしてくださったりとても従業員の方々の印象は好印象でした。
- ・ 客室には基本的なものはしっかり揃っていた。基本的なホテルにはあるような歯磨きなどのアメニティグッズが置かれてないことが少し不思議に感じた。毎日、客室担当の人が部屋をしっかりと掃除されていて、快適な部屋での生活だった。また、新鮮な果物を部屋に持ってきてもらえたり、深夜にも関わらずルームサービスを頼めたりと、とてもありがたかった。
- ・ 客室の担当スタッフの方がフィリピン人の方で、日本語で対応してくださったので助かった。しかし、海外にでたら、みんながみんな日本語をしゃべれるとは限らないので英語等の外国語を勉強しておく必要があると感じた。部屋に帰るといつも清潔に清掃してあって気持ちよかったです。お客様に対する、対応が充実していて、楽しめた。チョコまで置いてくれてすごいサービスだと思った。

<ハード面(船内施設・施設のレイアウトなど)>

- ・ 少し時間がたっていると感じましたが、施設のレイアウトと保守に工夫したとおもった。特にPizza ショップ「ピッツェリア”ヴェルティーズ”」の内装は豪華な金色ではなく、爽やかな緑色で、フレッシュな感じを与えられた。
- ・ シャワーヘッドが新しくなっているなど、室内の水回りが前回乗船した時よりもきれいになっており、快適だった。エアコンのフタが2度ほど落ちていたというトラブルがあったが、受付に電話をするとすぐに解決してくれた。インターナショナルカフェで何度か読書をした。とてもリラックス出来た。
- ・ 船が長い分、客室の廊下があまりに長いことに最初驚いた。エレベータが2か所あってまだ助かった。
- ・ 装飾品や調度品がきらきらとしていて



とても豪華な船内でした。部屋はとてもきれいで清潔感があり快適に過ごせました。遊ぶことのできる施設がたくさんあって、常に何か面白い発見がありました。

- ・とにかく豪華でびっくり。大満足です。
- ・トイレの座面が高すぎる&流れにくい点が気になった。
- ・個人的には、船上のスクリーンが一番気に入りました。大空の下で、夜風にあたりながら、大画面で映画を見るのはとても気持ち良かったです。ただ、気候柄もありますが、ジャグジーの温度はもう少し高くてもよかったかなと感じました。
- ・以前に乗船したロイヤルカリビアン船に比べて格式が高いせいか、上品な場所が多いように感じた。ロビーやラウンジは落ち着いてつかうことができ、班活動での議論をしたり、談笑したりするのにちょうどよかった。図書室には新刊の文庫がならんでいて細かい配慮がきちんとされているように感じた。
- ・エレベーターの近くにある information を見て、どの施設が何階にあるかを知っていれば、ほとんどの施設には簡単に行くことができました。しかし、7 階はライブラリーやパソコンルーム、シアターなどたくさんの施設が混在していたので、4 日目でも道に迷うことがありました。12 階は誰でも非日常的な気分を味わうことができるレイアウトだったと思います。
- ・少し通路が入り組んだり複雑な構造の部分もあったが、それがまた逆に迷路に入ったようなわくわく感があった。こんなところにこんなものが！という発見が楽しかった。(バスケットボールコートもそのひとつ)
- ・基本的にどの施設も綺麗でおしゃれで快適だった。椅子も座り心地抜群で満足。ひとつ日本と違う形で興味深かったのがトイレ。特に小用トイレのレイアウトが独特で最初はトイレに入ってから見つけるのに時間がかかった。
- ・船内のどこに何の施設があるのか、完全に最後まで把握できなかったように思います。しかし、それは難しいからこそその面白さがありました。今回のクルーズの楽しみでもあったスポーツ施設や、大画面での映画などアクティブな要望から、ゆったりとした時間を過ごしたいという要望にまで、全て応えてくれるものだったと思います。
- ・船内施設については広くてどの施設がどこにあるか理解するまで時間がかかりました。もう少し、地図などを増やしてみたらわかりやすいかなと思いました。しかし、様々な施設があり、船で過ごすには退屈しないほど施設がそろっているのはとても良かったです。
- ・船内がとにかく広かったのも、部屋からダイニングまでの移動など少し面倒だなと思うこともあった。しかし、ダイニングやカフェなどよく使う主要な施設は一か所に固められており、使い勝手は良かった。
- ・船上なので、景色が見やすいということにも配慮したレイアウトになっていたのではないと思う。朝食は 14F のホライゾンコートをよく利用したのだが、そこから見える海の眺めは最高だった。
- ・船内は、まるで高級ホテルのようで、船にいることを忘れそうになりました。



- ・ 最初から最後まで、船の構造に慣れず、迷ってばかりでした。客室は、思っていたより広かったです。個人的には、客室のトイレの便座の位置がなんとなく高い気がして、これは外国人向けなのかな?と思いました(笑)
- ・ 船内には、まわりきれないくらいたくさんの施設があつて驚きました。
- ・ 時間と体力の都合でジムに行けなかったことが心残りです。"
- ・ 今思えば、そんなにわかりづらい船内の構造ではなかったと思うけれど、エレベータが船首寄りと船尾寄りの二つがあつて、この2つのエレベータを使いこなすことが、効率的に船内の目的地にたどり着くための鍵になると思う。もし次回があるのなら、その辺りを乗船前に確認してから乗ろうと思う。
- ・ 船が思っていたよりも大きかったので最初のうちはどこに行くにもだれかとともに行動していました。しかしだんだんエレベータと位置を把握するとともに道にも迷わなくなりました。また話し合いを行うのに最適な場所がたくさんあつたので議論がすずめやすかったです。
- ・ 良い点…モダンテイストで気品・統一感がフロア全体に行き届いていた点 / プール・コートの充実により海上でスポーツを楽しめる点 / 適宜座れる場所があつた点 気になる点…寒い日など野外シアターはどうするのかという点 / 乗るエレベータによっては止まる階が違う点 / ご年配の方が迷ってらっしゃったりもしていたので案内を船内に置くべきではという点
- ・ プールやジャグジー、ジムなど長旅でも飽きないように工夫されているなと感じました。日本人の乗客の年齢層が比較的高かつたので、船内で迷っている方を度々見かけましたし、僕自身も迷いました。船内のレイアウト図を、もう少し各所に掲示したほうが良いのではないかと感じました。
- ・ 船内は複雑だと感じる階もあり、最初の方はなかなか慣れることが出来ませんでした。SPA が奥まったところにある点や、壁のちよつとしたスペースに腰かけられるように段が入れられてある点がユニークだと感じました。大人数で楽しむには、ジャグジーが小さい。バスケットコートなどのアクティビティのスペースが狭いとも感じました。
- ・ 設備がやや歴史を重ねてきている感じはあつたものの、清掃などは綺麗に行き届いていたと思う。トイレに関して、身長が低い日本人にはやや高めの便座で、6階ダイニングレストランそばのトイレのパーテーションの隙間が気になった。故障中や水漏れで、ここのトイレはどれも使えないという場所もあつたから、メンテナンスをしっかりとしてほしい。部屋のシャワーの水圧が弱く、かえって多く水を使ってしまうことにならないかなと思った。
- ・ 施設はとてもきれいで満足しました。程よい高級感と清潔感があつたので日本人に合わせられているのかなと思いました。トイレがボイジャーよりも更にきれいで驚きました。
- ・ エレベータが各階に停まるものと途中で終わるものがあつたので、明記してほしいと思いました。
- ・ プールやフィットネス、レストラン、ラウンジ等が広々としていて、ダイナミック。



- ・ 船の端から端までとても長く、船の大きさを実感させた。
- ・ 日本の建造物とはかけ離れていて、少し外国に来た気分になりました。船内の照明が全体的に赤みを帯びた照明だったのであつたかく落ち着いた毎日を過ごせました。そしていたるところにカフェがあり、ゆっくりしたいと思った時に飲み物にありつくことができ心温まるサービスを実感しました。
- ・ 初めて船内に搭乗したとき、全面ゴールドのエレベータだったので少し緊張しました。装飾やレイアウトなどは「これぞ豪華客船」という感じがして、普段とは違う空間にいられたと感じました。
- ・ 船内施設に大浴場があればいいなと感じました。疲れている時に何度かお風呂が恋しいなとも感じました。そのほかはとても素晴らしく、分煙に厳しいこともいいことだなと思いました。
- ・ 客室が下層階だったので、船内施設の多くが上層にあつた為、少し行き辛いかな、と感じました。しかし、様々なバリエーションの施設が船内にあり、全てを満喫しようとすると、とても時間が足りないと感じました。
- ・ 私の部屋は 5 階で、ほとんどの施設が上の階に集まっていたので、頻りにエレベータを使っていました。レストランは、とても広くゆったりとすわれ、おいしくゆっくり食べることができました。シアターの階と写真が飾ってあつた階などは似ていてややこしかったです。ロビーの一番上の 8 階にあるピザはおいしかったです。座りたい席に座らせてもらい楽しみました。
- ・ レストランやバー、映画、プールなどがあり、今自分が船にいるとは思えないようなところでした。船内はアメリカで、レストランなどでは英語を話し、アメリカに行ったわけではないけれど行ったかのような気持ちになり、とても楽しむことができました。どの施設もとても豪華で驚きました。
- ・ 船内施設は、プールやジムなど本当にたくさんあり街中にある娯楽施設をすべて船に取り入れたかのようなでした。レイアウトなども高級ホテルのようなレイアウトで気品を感じるような作りになっていました。また吹き抜けの場所などもありそこではダンスができるような場所もあり驚きこのような豪華な世界もあるのだなと心から思いました。
- ・ トイレなどが、各階にあつたのでよかったです。船内の構造になれるのに時間がかかりました。また、すべてのエレベータがすべての階に行けるようにしてほしいなとも思いました。
- ・ 船内施設はその施設にあつたレイアウトがそれぞれされており、とても落ち着いた空間だった。美容室やスパ、ジムなどさまざまな施設が揃っているので船内で生活するうえで困ることはないのではないかと感じた。船内にはジャグジーがあつたものの部屋にはシャワーだけだったので湯船につかれるようにバスタブがあつたほうがよかったですと感じた。
- ・ 船内では、ジム、ジャグジー、プールを利用した。ジムからプールが近いため、ジムで汗を



流した後、プールで思いっきり泳ぐことができ、便利だと感じた。ジャグジーも水温が丁度よく、ずっと入っていたいような気持になった。今回は利用しなかったが、他にもスパや美容室等も設けられていて、次回乗船することができたら、スパで肌を整えて、美容室で髪をセットしてパーティーに出席したいと感じた。

<編集後記>

スマートクルーズアカデミーは、今回で5回目を迎える。体験乗船の意味で始まった初回と比較し、参加学生の規模も拡大し、船内の教育プログラムも充実したものになってきている。(これまでの体験者はほぼ150名(148名)に達した。) 上記のレポートからもわかるように、クルーズ初体験の学生にとって、クルーズアカデミーを通じて得られたものは計り知れない。クルーズでの様々な体験に加え、大学横断型融合チームによる社会問題解決型プレゼンテーションからの刺激も大きい。日本の将来を担う若い学生が、船内での体験を活かし、大きく成長し、日本を変えていくこと、また、日本のクルーズ人口拡大やクルーズ振興に貢献していくことを期待してやまない。

なお、この企画を応援してくれている皆様に厚く御礼申し上げたい。また、編集をサポートしていただいた大石昌宏氏にも、感謝の意を表したい。

スマートクルーズアカデミーコーディネイター 赤井伸郎(大阪大学国際公共政策研究科)